



玩具少女

TOY
GIRL

Takahiro Hiryu

緋龍高弘



あたしで良かったら
慰めてあげるよ？



お兄さんどうしたの？

一人で寂しいの？

ね…？



a story

あたしの身体

お兄さんの好きにしてい
いんだよ

いじむ...

もう
こんなに
なってるの

ねえ...

早く...







そこを見つけたのは偶然だった



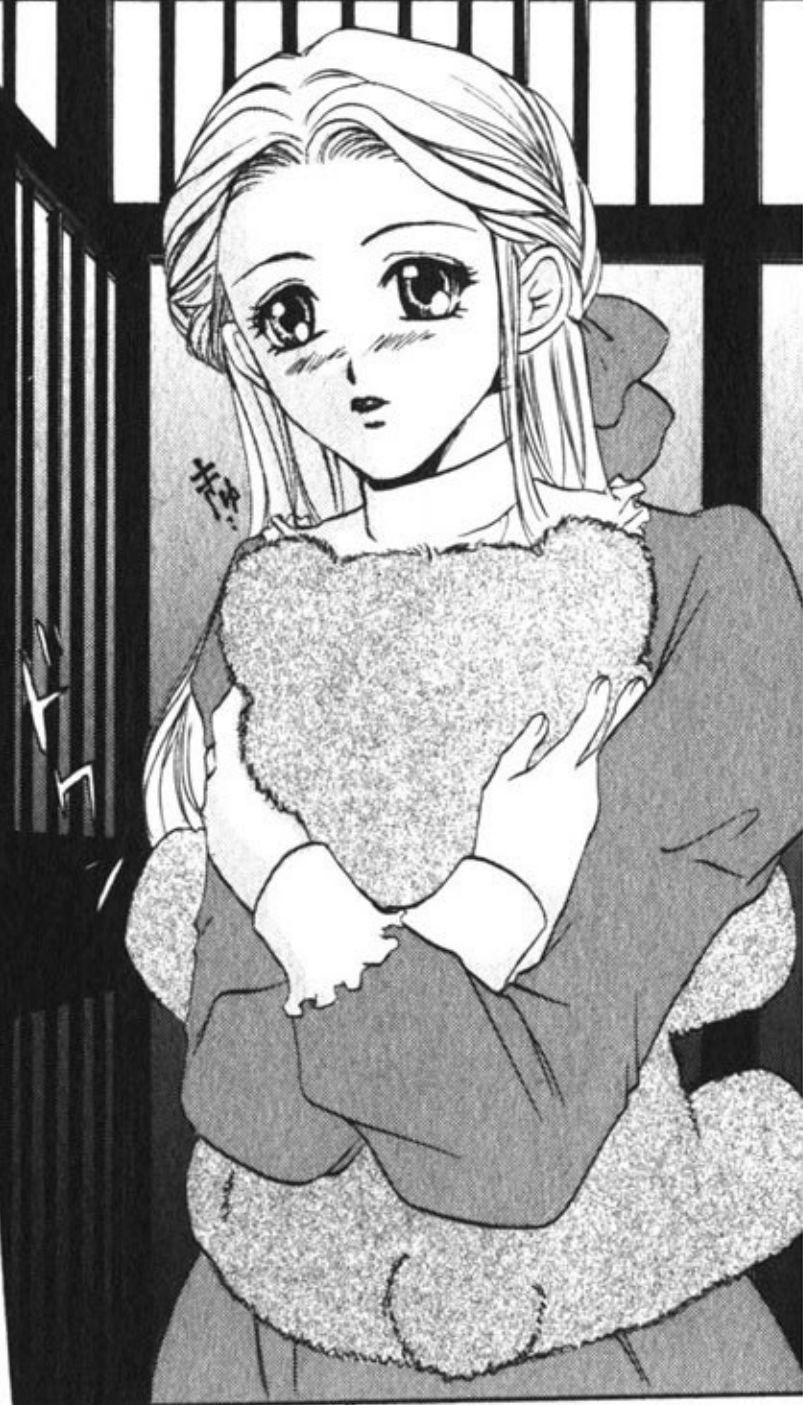
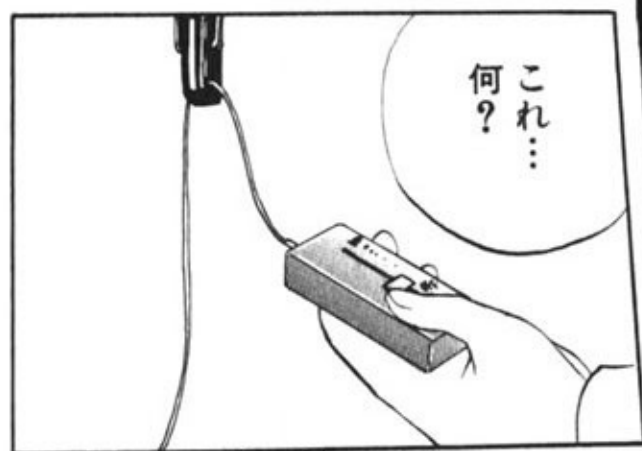
少しだけ開いた鉄の扉の奥

その中に

ドクン
ドクン

akaikusari
朱い鎖
静寂の檻

鎖につながれた女の人がいた





お父さま…



だめじゃないか
勝手に入っちゃ

—これに
さわったのかい？



—お父さま
この人 苦しいの？



沙耶が
それにさわったせい？

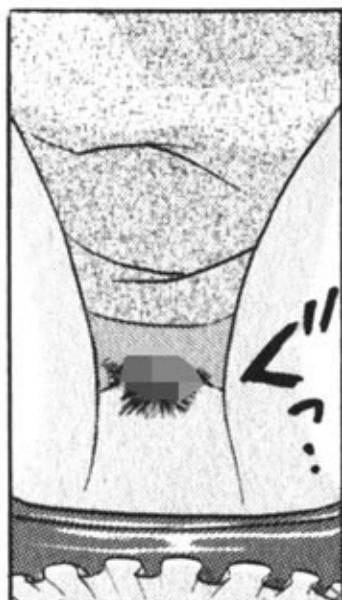


—違うよ 沙耶

この人はねえ
喜んでるんだよ









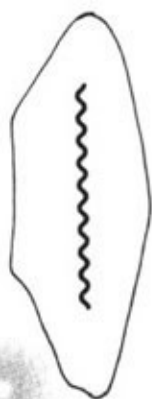


すっ…



んんん…

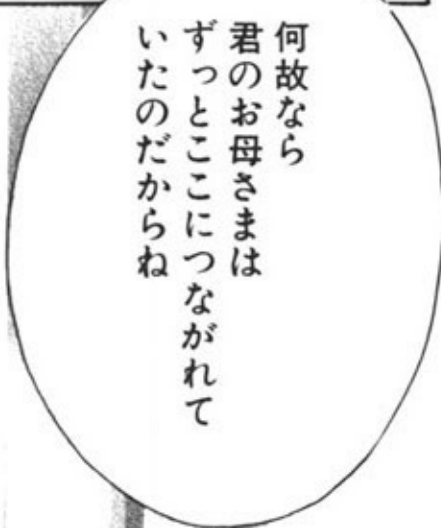
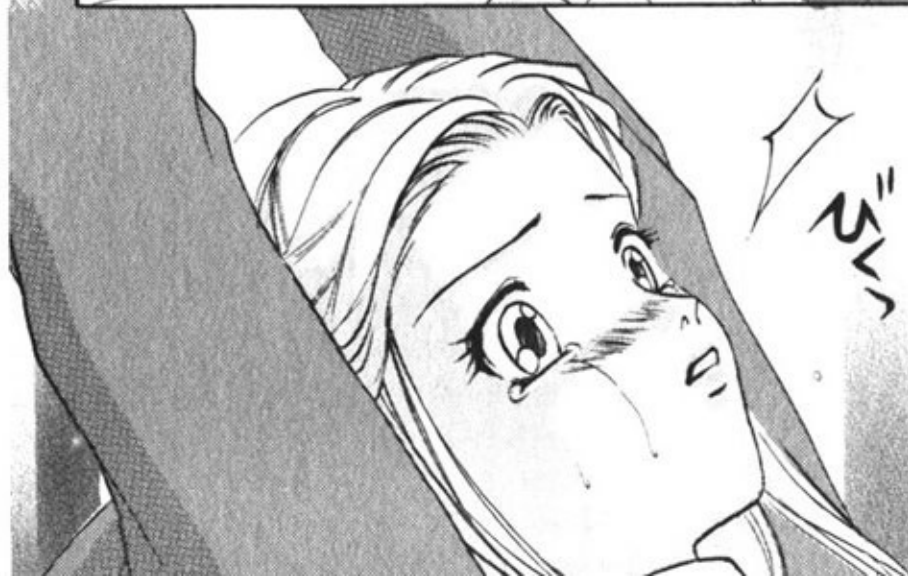
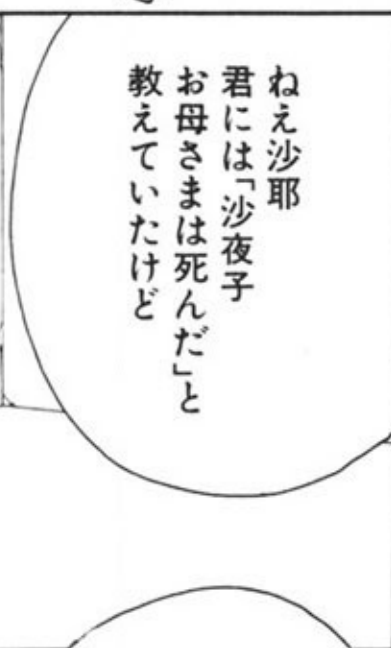
しゃあああ…



ひい…

—おもらしたね…
悪い子にはおしおきだ









あっああ!!

痛いっ

いたいよ
お父さまっっ

抜いてっ
ぬいんえ...!!



沙夜子が
死んでから...

あつ...

君が大人になるまで
随分と待たされた

これからはもっと
愛してあげるよ

僕の愛しい沙耶

THE END

覚

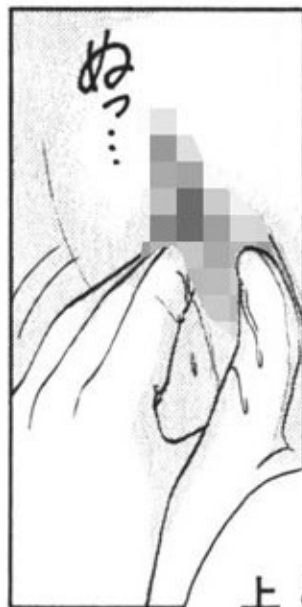
ka-ku-sei

醒





へえ？
なかなか感度が
いいわね



ぬっ...



ふっ...

吸いつきもいいし
色も綺麗だ

これは
上玉よ

ビーン

ちゅっ
ちゅっ

ビーン



—その人は

—そうね

この娘を
いただくわ



—いかがです
奥様…?



猫のような
色違いの瞳で
私を見つめて



さあ

今日からあなたは
私の物よ…

そう…言ったのだ





—おつれしました

待っていたわ…

—奥様も…
きつとお喜びに
なりますわ…

本当に上手に
なれましたわね

は…

はま

あの人の為に……





そのおびえた瞳...
ぞくぞくするわ

さあ
もっと私を
楽しませて...

!?

——驚いたかしら?
ふふ...素敵でしょこの体

どう？
美しいでしょう

私のこの瞳と同じ様に
男女の性がまざり
あった身体…

さあ口を
開けなさい

ん…

ん…

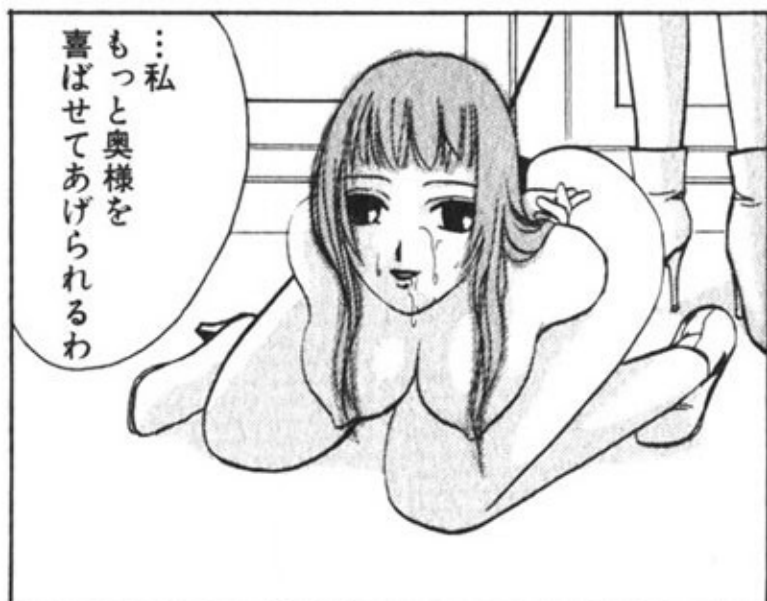






…はあ

はあ



…私
もつと奥様を
喜ばせてあげられるわ



—奥様
それで満足ですか？

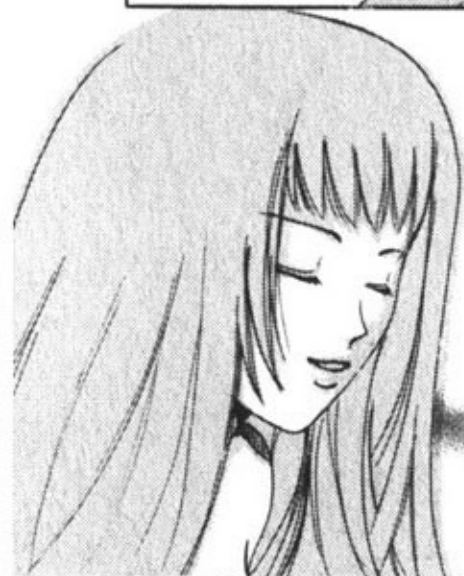


…その娘だけ
残してお前たちは
部屋を出なさい



ねえ 奥様

にゅにゅ









ああ…

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ



—あの時から

もういいわ
お疲れ様

—ああ
かれんは残って

…はい

あなたの瞳を
見たその時から

解っていたの

今日はどのように
いたしましょうか
「奥様」?

貴女は私の
パートナーだって

THE END



哀玩具

その一 千秋





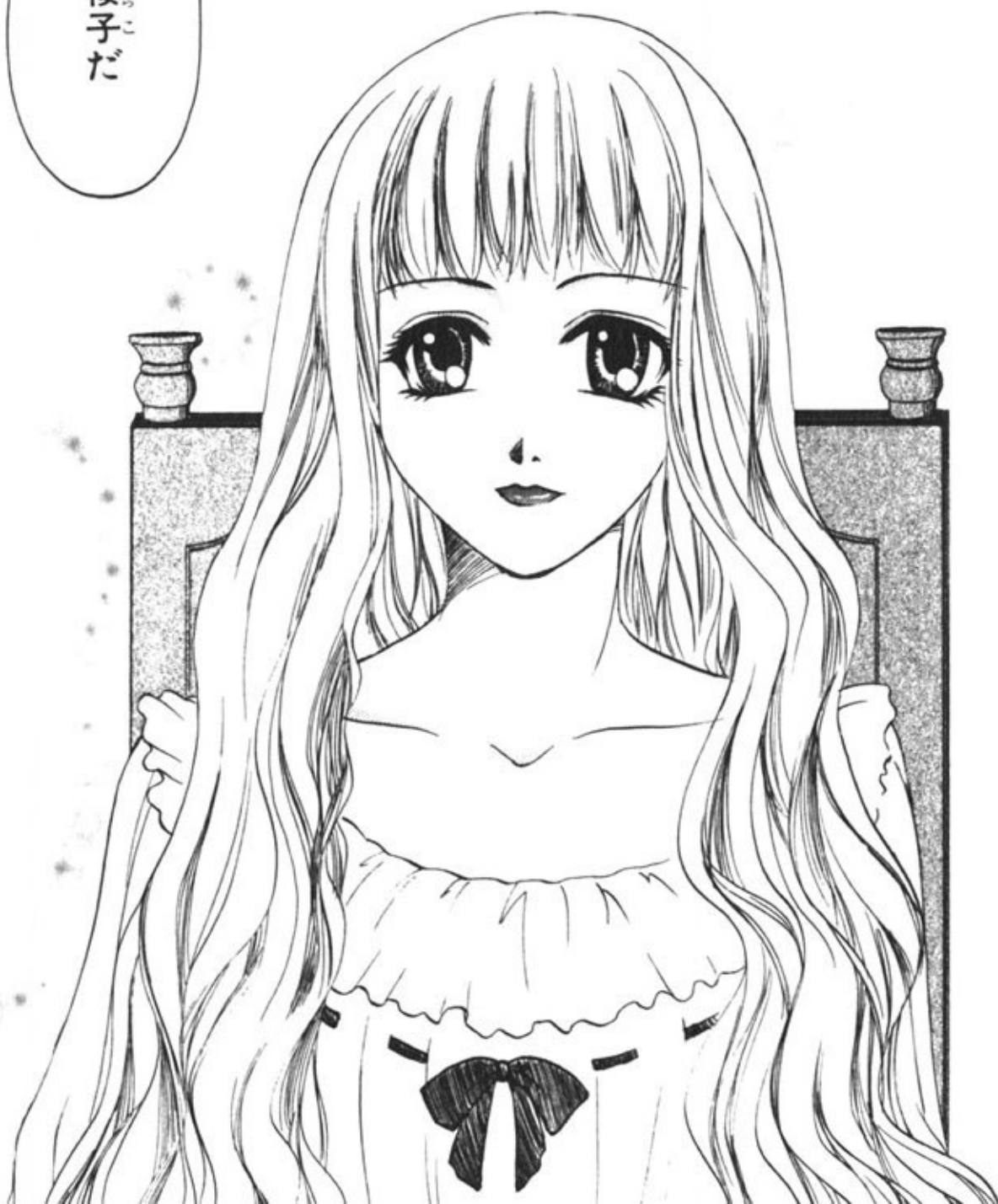
紹介しよう

桜子^{さくらこ}だ



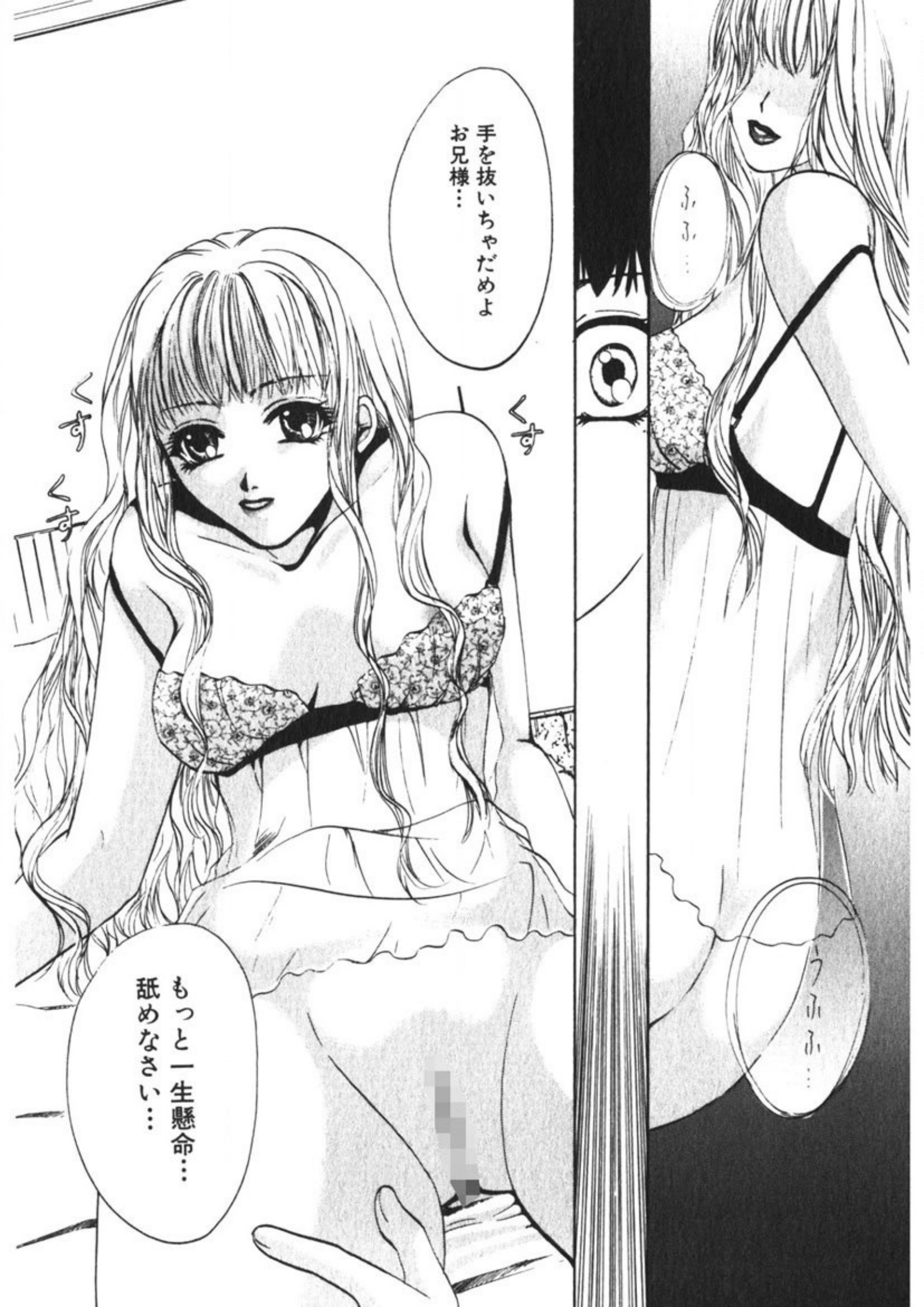
君には妹の世話を
してもらおうよ

——…真つ白い御人形？
ああ違うわ…女の子だ









手を抜いちやだめよ
お兄様…

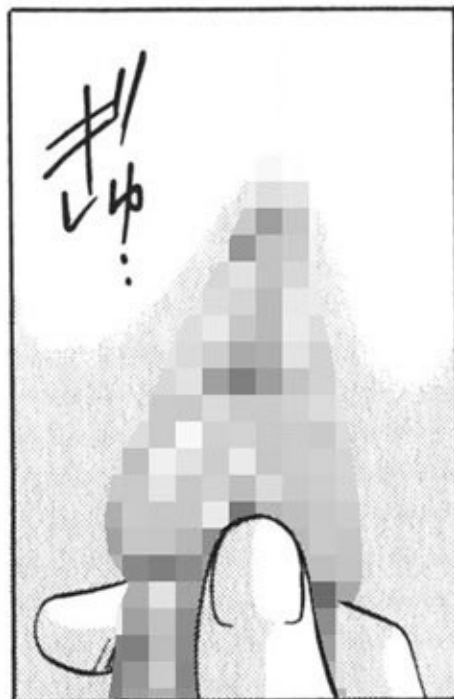
くす
くす

もっと一生懸命…
舐めなさい…

ふふ…

うふふ…









あ…
お兄様

ん
っ
っ



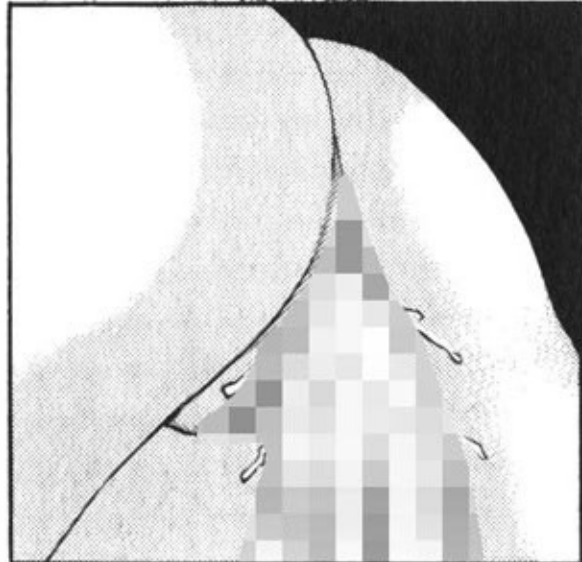
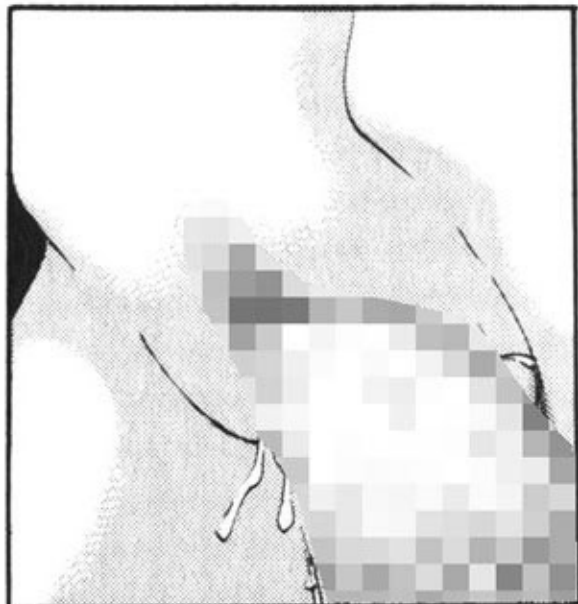
ああん

ぱん、

ぱん、

あっ
あっ

ぱん、

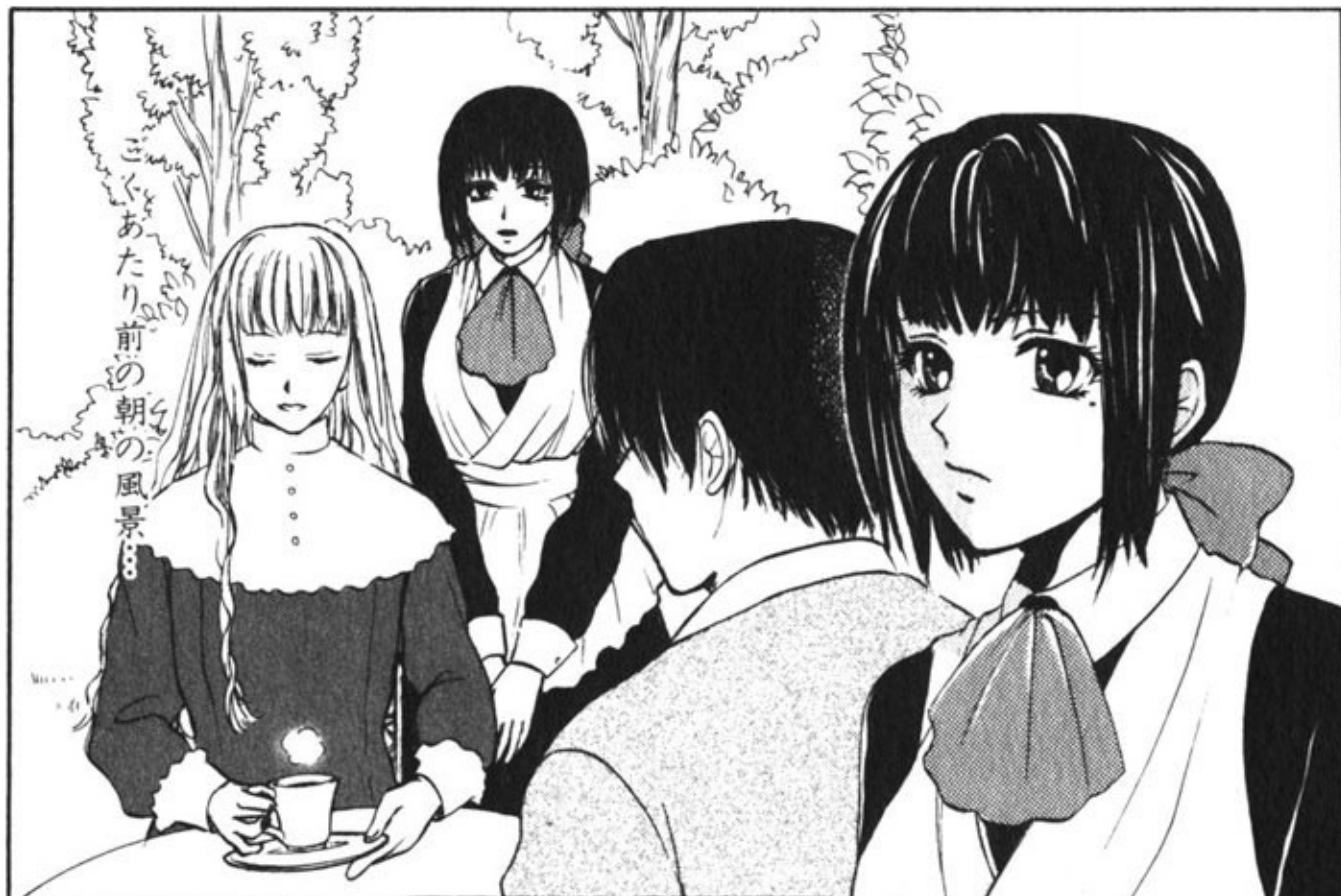


なんてこと…!?
兄妹でそんな…

あっ…

はあんっ





さくあたり前の朝の風景

昨夜のことは
夢だったのかも
しれない



千秋：

昨夜落とし物を
したね



…夢じゃなかったの…？

—はい
旦那様



…お入り

旦那様
千秋です



あの…

旦那様
私…

昨夜のことなら
もういいんだ

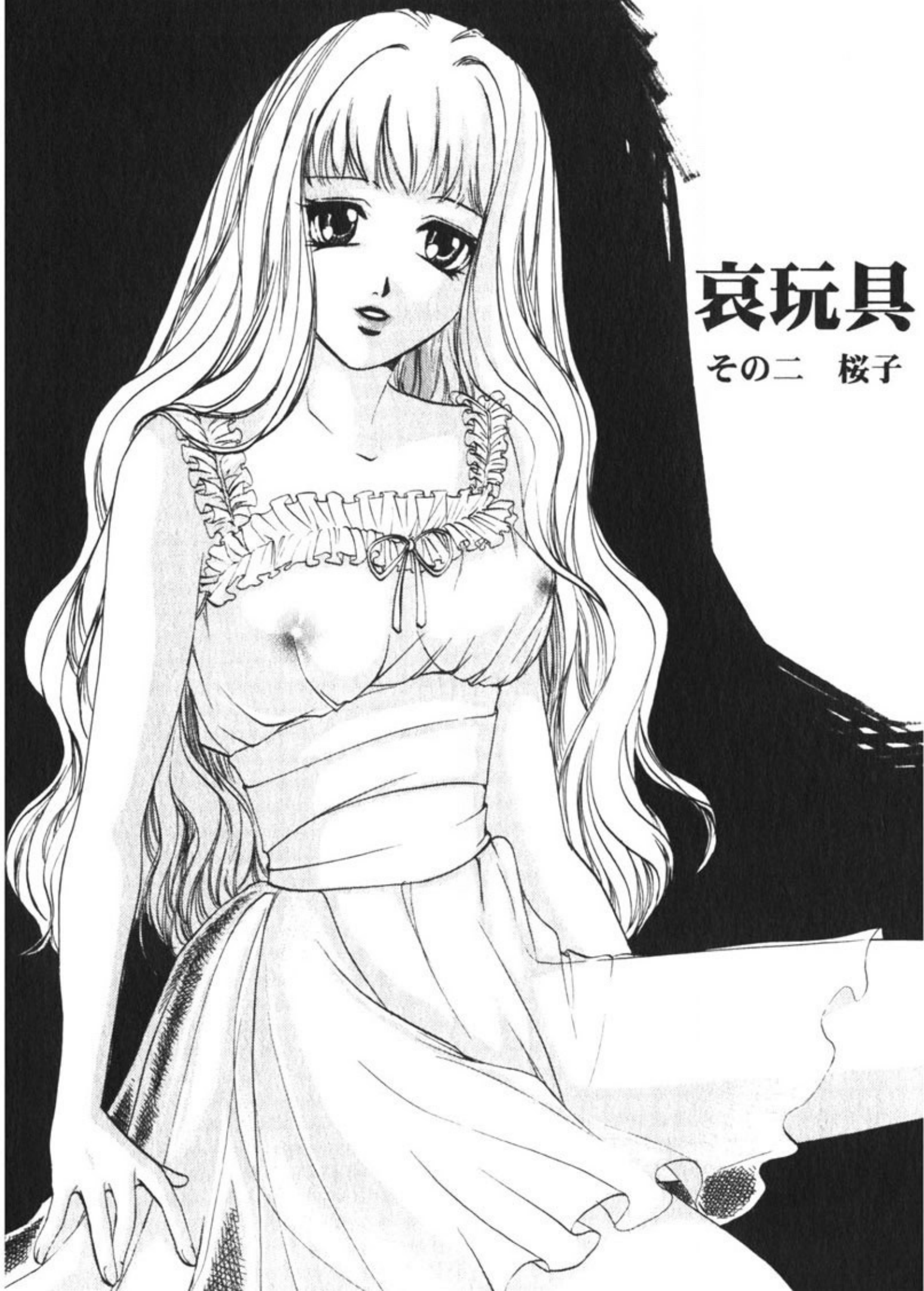
それより…
君にプレゼントが
ある





哀玩具

その二 桜子





ああ 旦那様

旦那様っ



CHIAKI

シヤッ...

あ...っ



ず

ずず



あ...

あ

あっ



僕はこれから
少し出かけるので
桜子のことをたのむよ

——千秋





旦那様は時折
私を抱く

まるで玩具のように

—はい
旦那様…



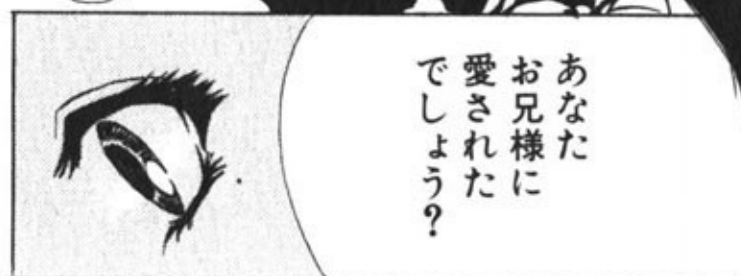
そこには愛など存在しない



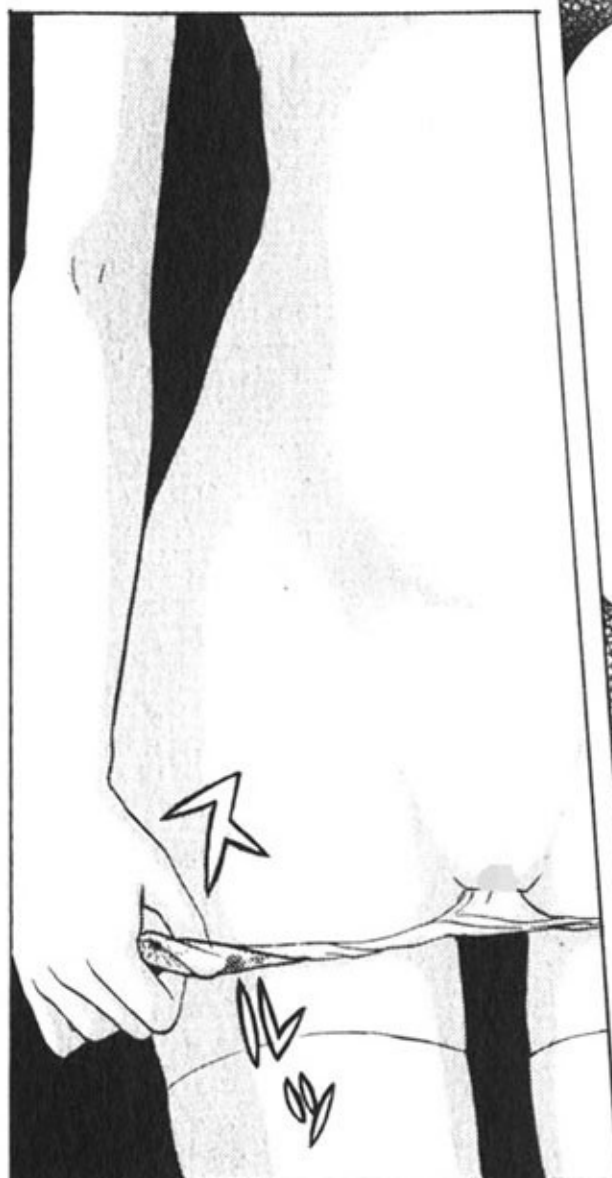
桜子様
お召しかえです

わかっていたことだ
私はメイドなのだから

千秋…







お前がされたように
私を愛してごらん



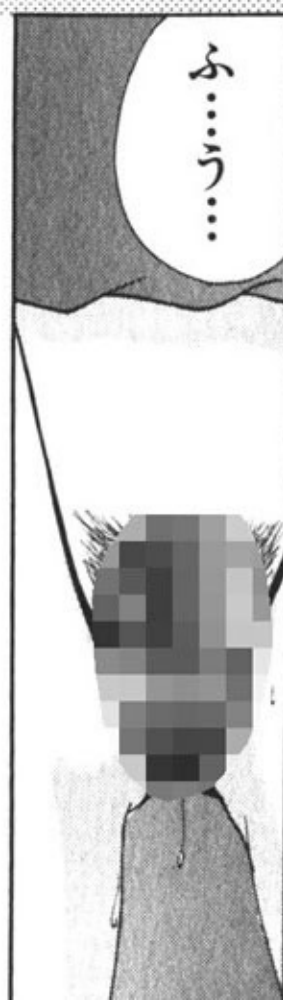
千秋

さあ











…いれますよ



!!





あぁっ

!

ッヤ

ア
ア
ア





…うふふ

良かったわ千秋



わかっていたことだ
私はこの兄妹の
玩具なのだ

——ありがとうございます
桜子様…



——嫌な男よ！



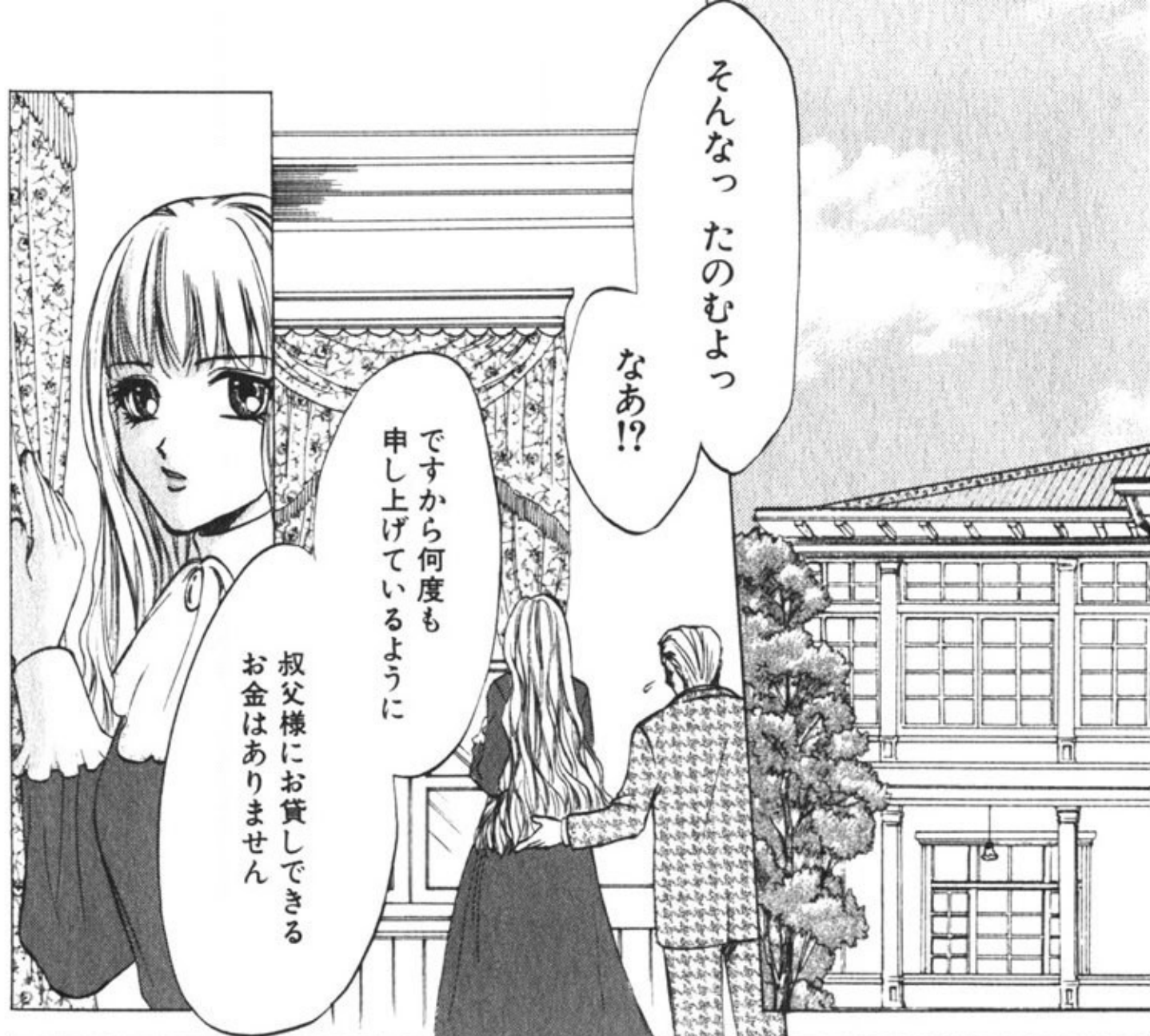
——叔父よ

…どなたが？



——ああ そうだわ
今日はお客様が
来る予定なの

用意しておいて





俺にだって財産を使う
権利はあるんだぞ!?

ちくしょう
いまましい
女ギツネめ…!



—何の為に
お前をここにやったか
わかってるな千秋
どんなことをしても
アイツ等をおどすネタを
見つけるんだ

か
し



ええ
わかってるわ
お父様…

TO BE CONTINUED



哀玩具

その三 「玩具」

小さい頃 私は「父親」という
ものを知らなかった



「父親」とは「大きな男の人」
だと聞いて

では「母」のもとに来る
「大きな男」は皆「父親」
なのだと思っていた



少し大きくなつて
すぐにわかった



それは「父親」なんか
ではなかったこと
そして……



あたしはただの
玩具なんだってこと







あんな男でも私には
たった一人の肉親……

私をつなぐ鎖なのだ――





ヒシヤ



ヒシヤ



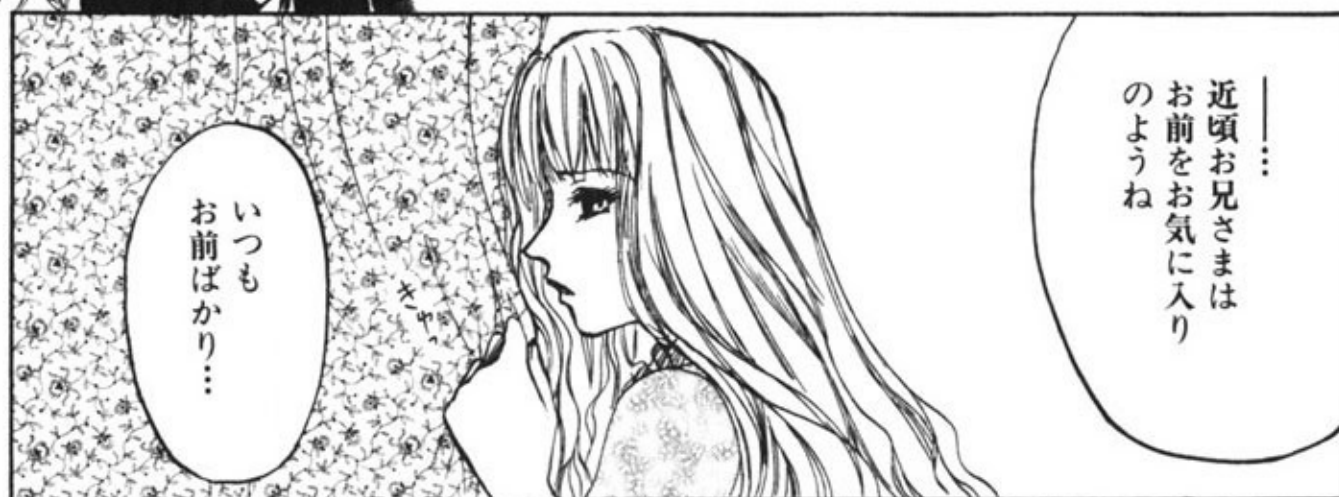
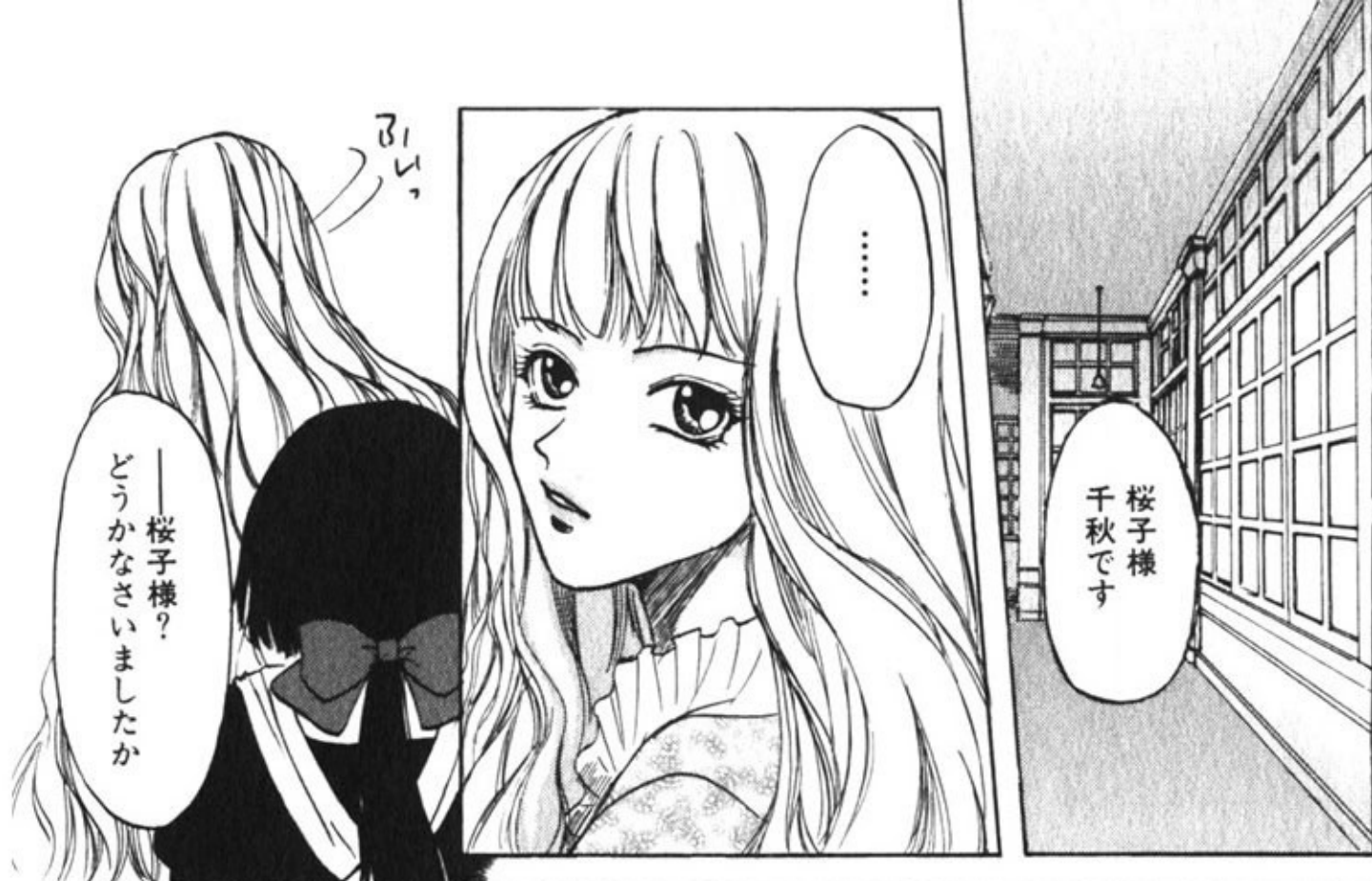
——もういいよ
千秋

御苦労
だったね



早く桜子の所へ
行ってやってくれ

——はい



知ってるのよ千秋
お前叔父さまの
愛人なんですって？

あの男は
優しくしてくれるの？

大人しいふりして
本当は淫売なのね

どうやって叔父を
たらし込んだのかしら？

いつもしてくれるように
優しく舐めてあげたの？







綺麗なカラダ
—愛される為のカラダ…

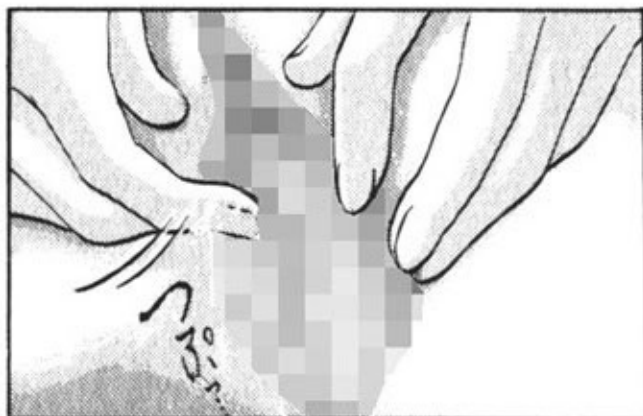


私が壊してあげる…



いいモノを
あげますわ

あなたを壊したら
旦那様はどんな顔
するかしら？

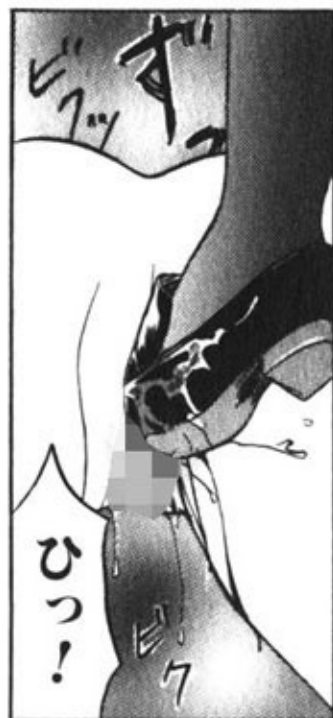




うふふ
素敵でしょう

…良くキク
お薬なの







…旦那様!!



— けっこう
ひどい事するね千秋



— あーあ
イッちゃった…



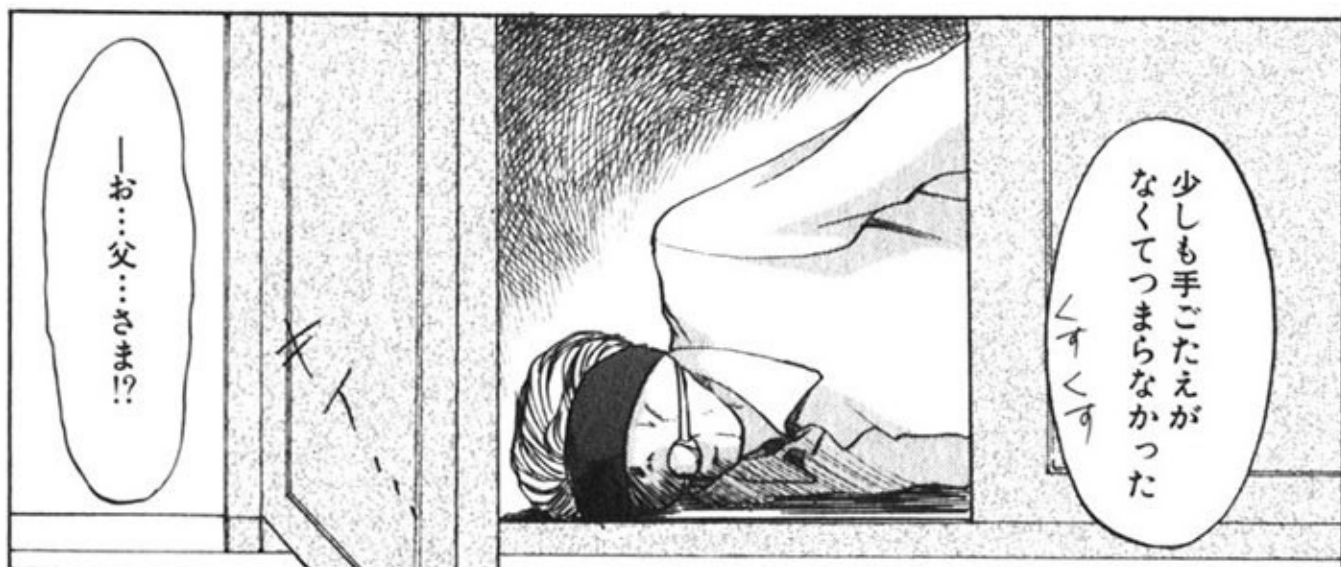
壊れたんじゃ
しかたないね

— 桜子はけっこう
気に入ってたんだけどな…



え?

もういいや
…替わりは居る
からね



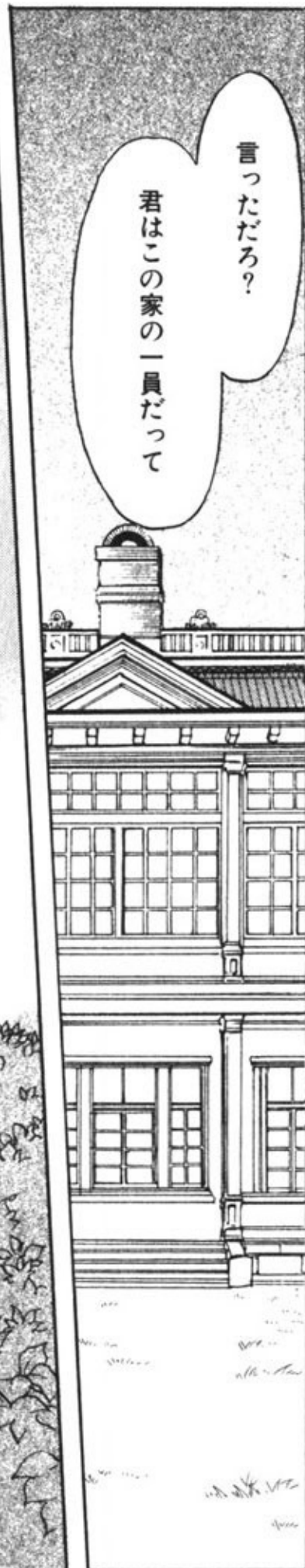


今行きますわ
お兄様……



千秋——

君の新しい世話係が
来てくれたよ



言っただろ？

君はこの家の一員だって

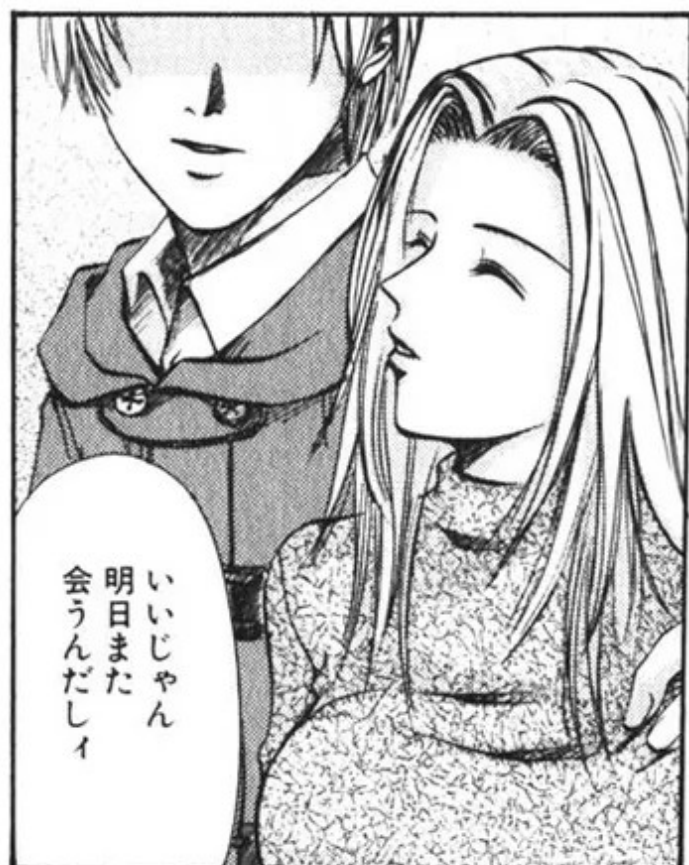
THE END

狂愛

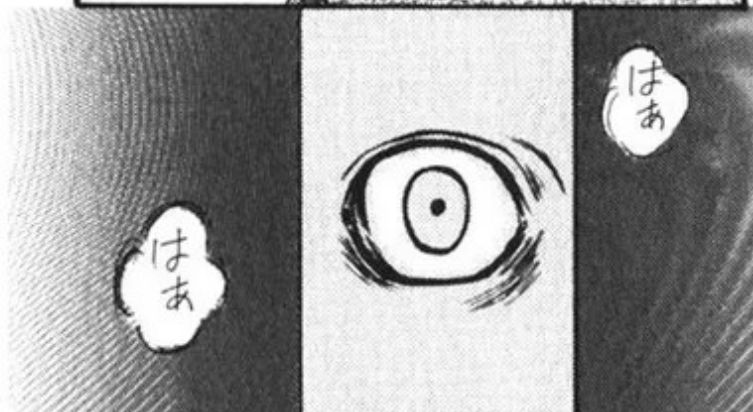








いいじゃん
明日また
会うんだし



はあ

はあ



あー
気にしないで

隣の浪人生よ

何だよアレ
お前の知り合い
かよ?

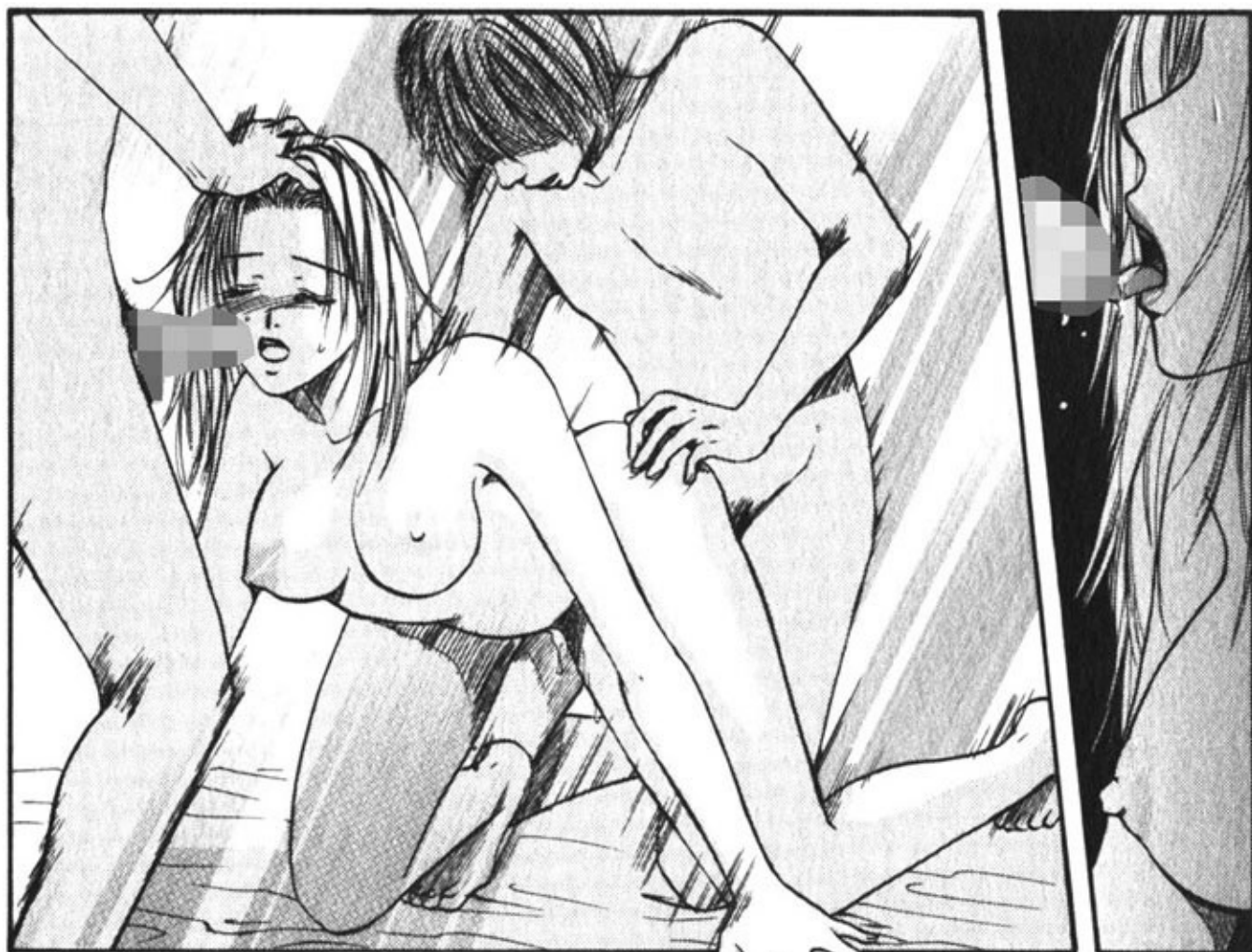
キモワッ

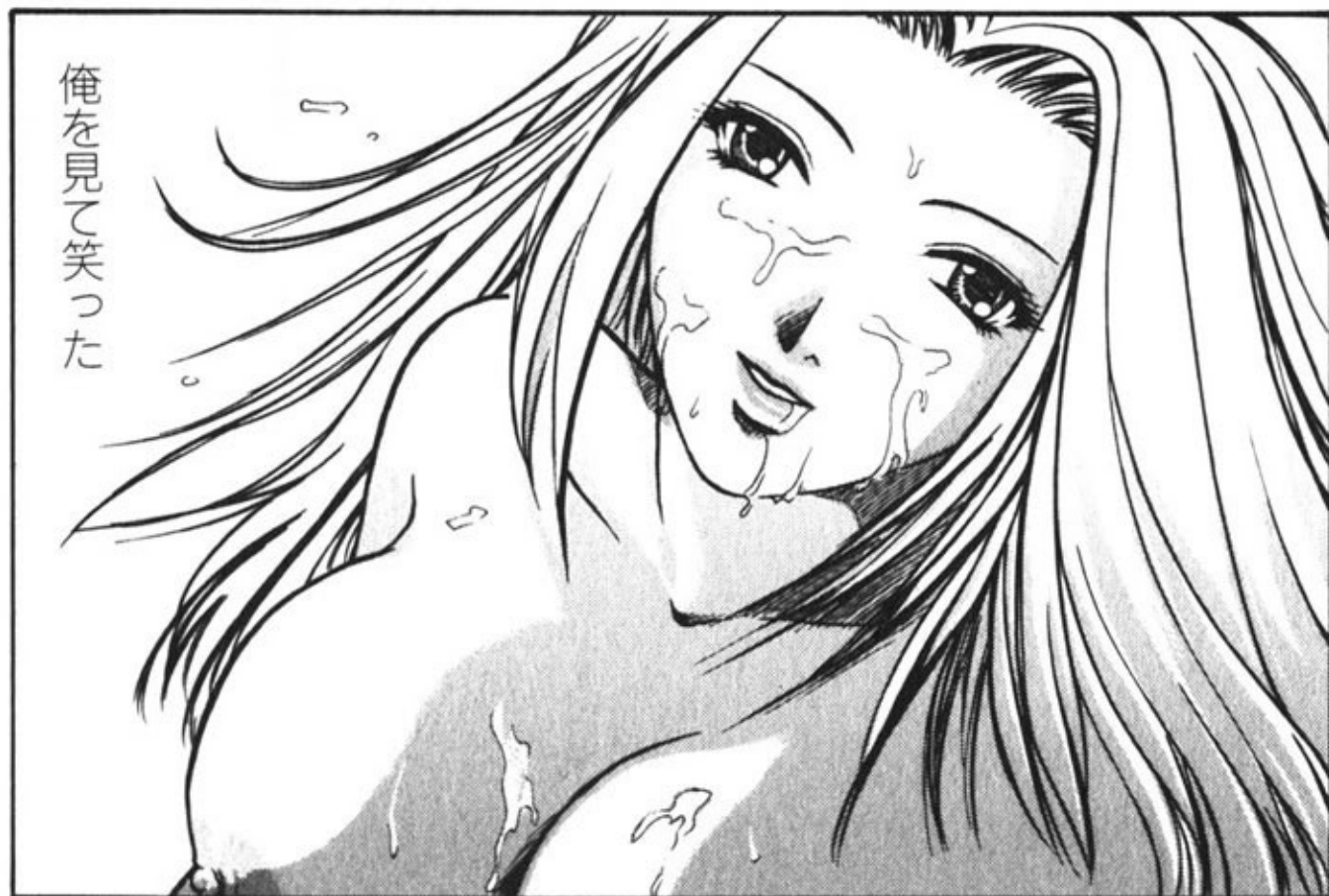


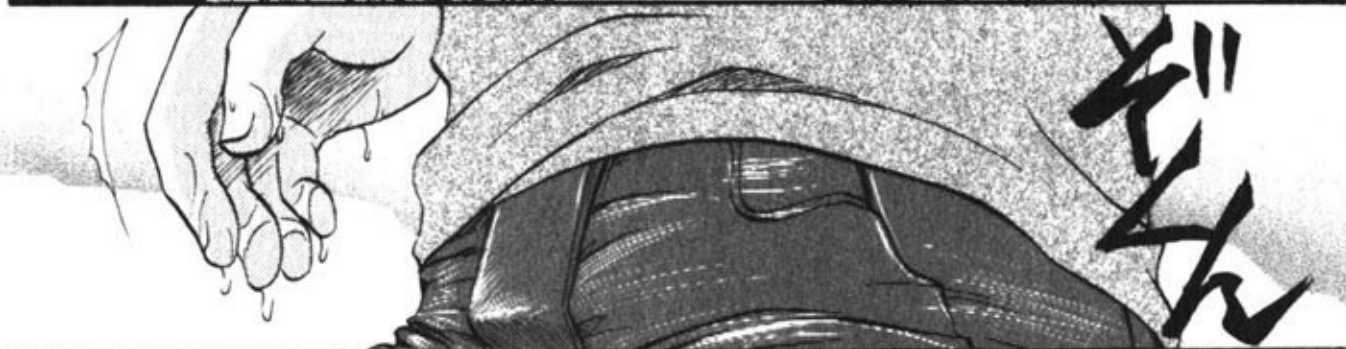
ダメ
今晩は用事が
あるの

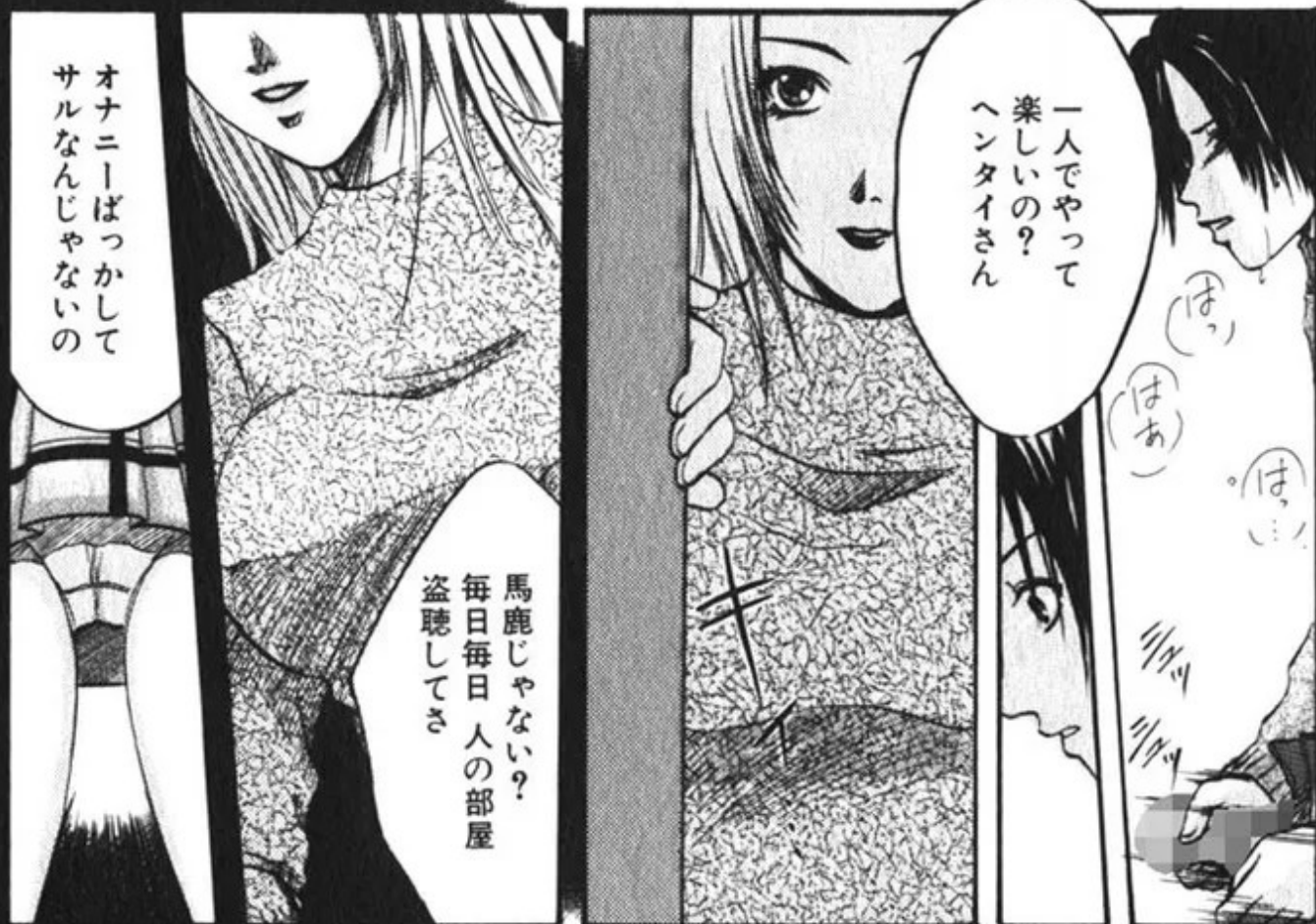
おとなしく
帰ってよね



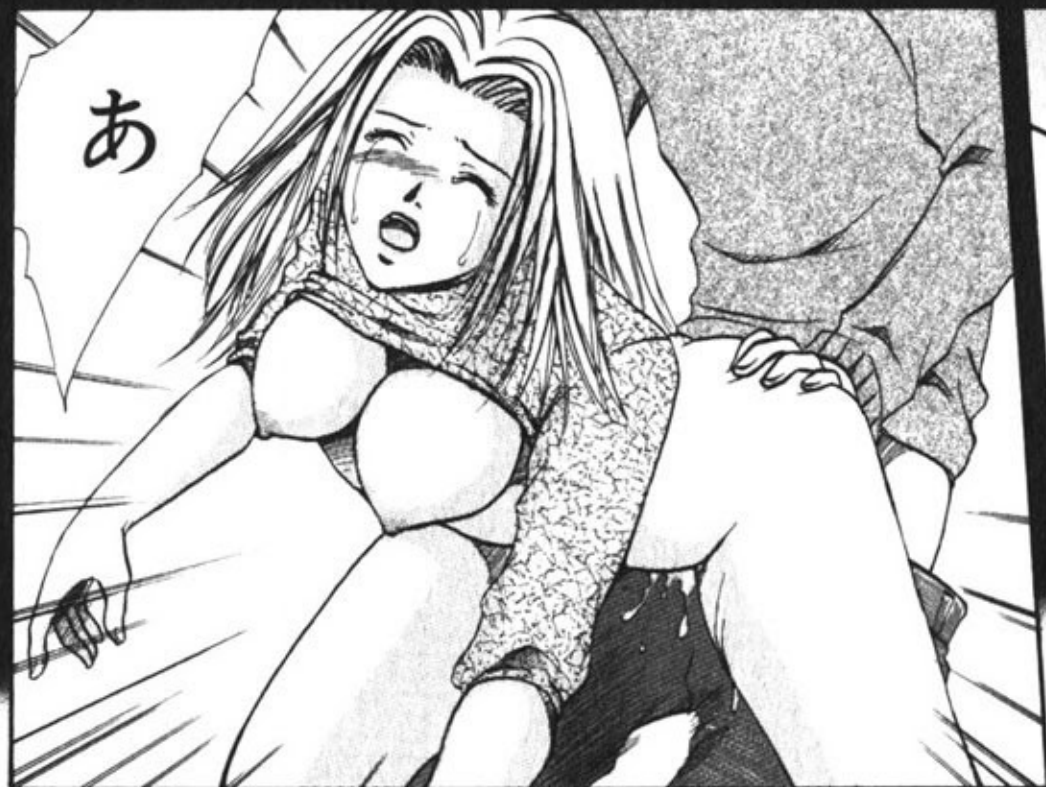












あ



く
にっ



ふっ

ああっ

あんっ

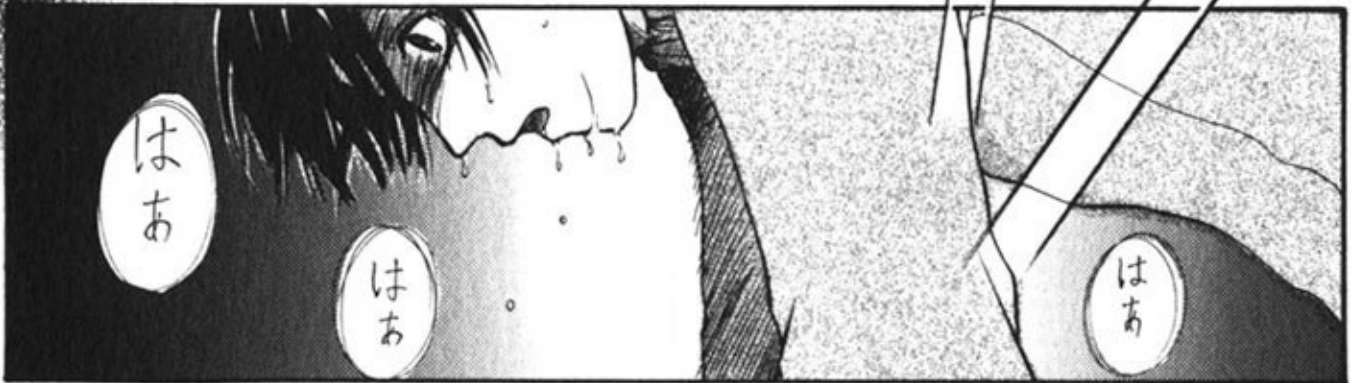


あっ
はっ

はっ…

どう？

「女」の味はっ

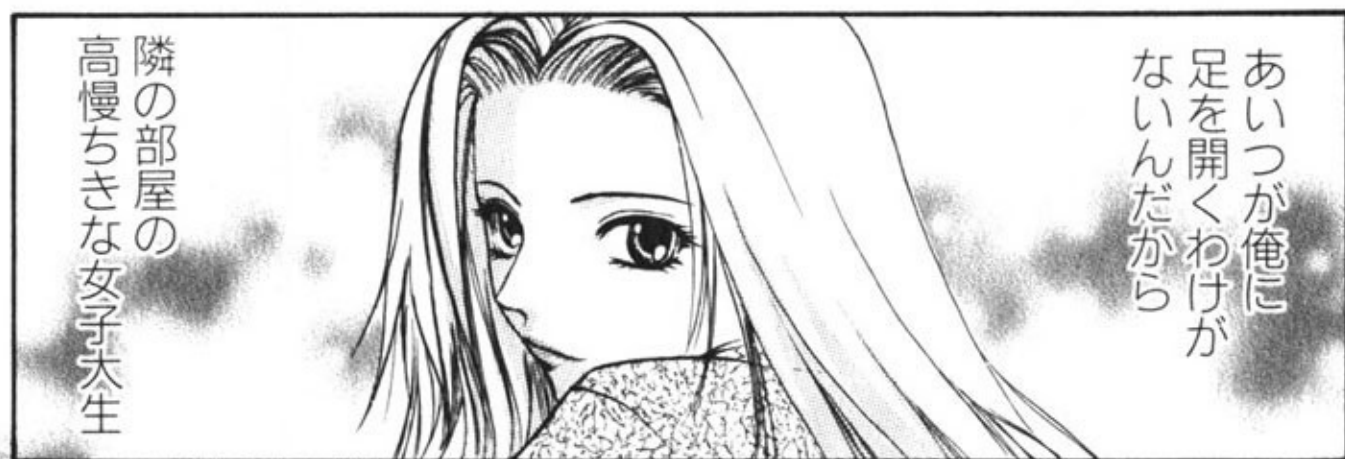


はあ

はあ

はあ

はあ





見るだけだ…

はあ

大丈夫

はあっ

少し覗くだけ…

はあっ

はっ

キッ

ほんの少し—

ハ?



ハ?

ハ?

ああ…

待ってたのよ…

それとも——…

——これは夢か？

THE END

なつかしい夢を見た日



気がつくとその建物の前に
立っていた――



妻と泊まったホテルだった

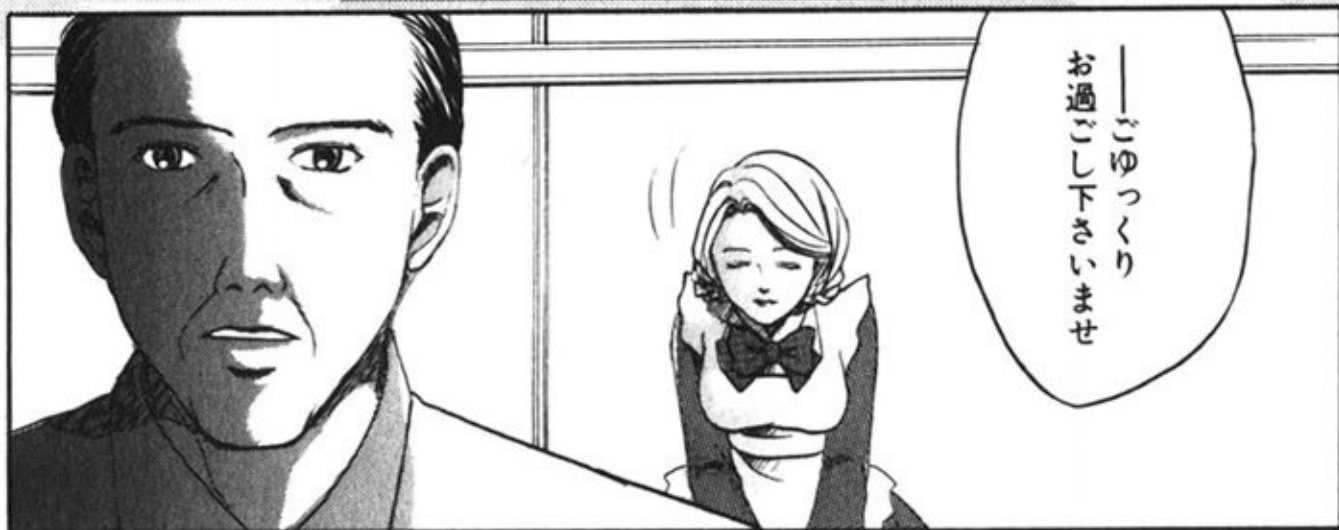
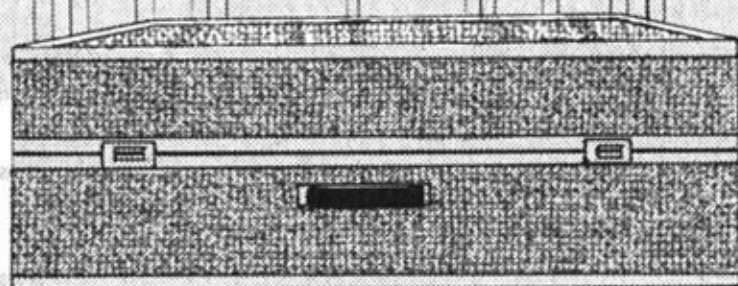


そこは昔

時の無いホテル

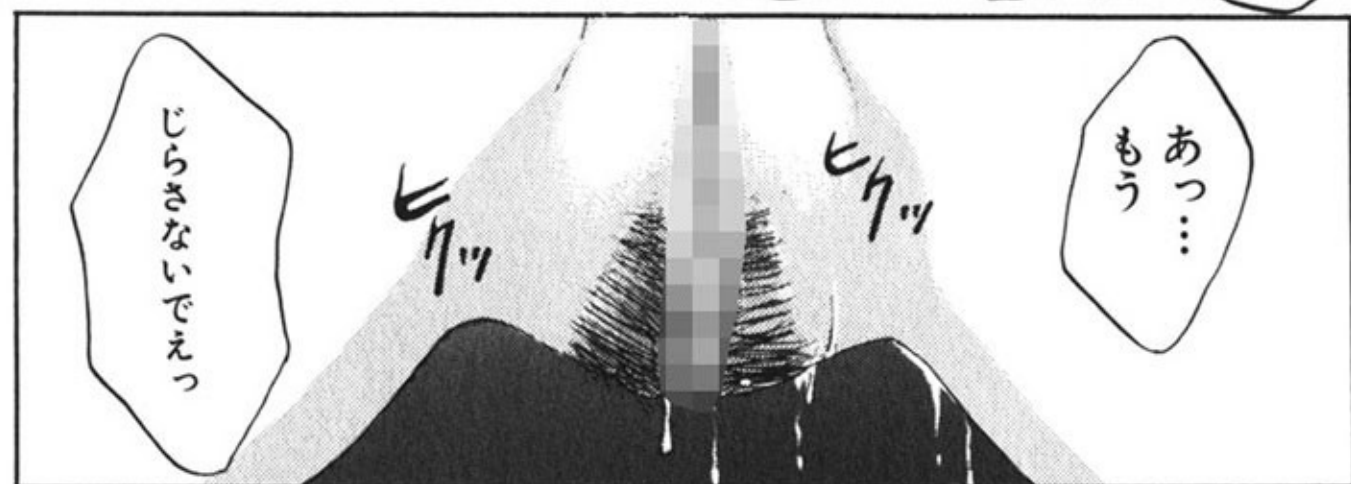
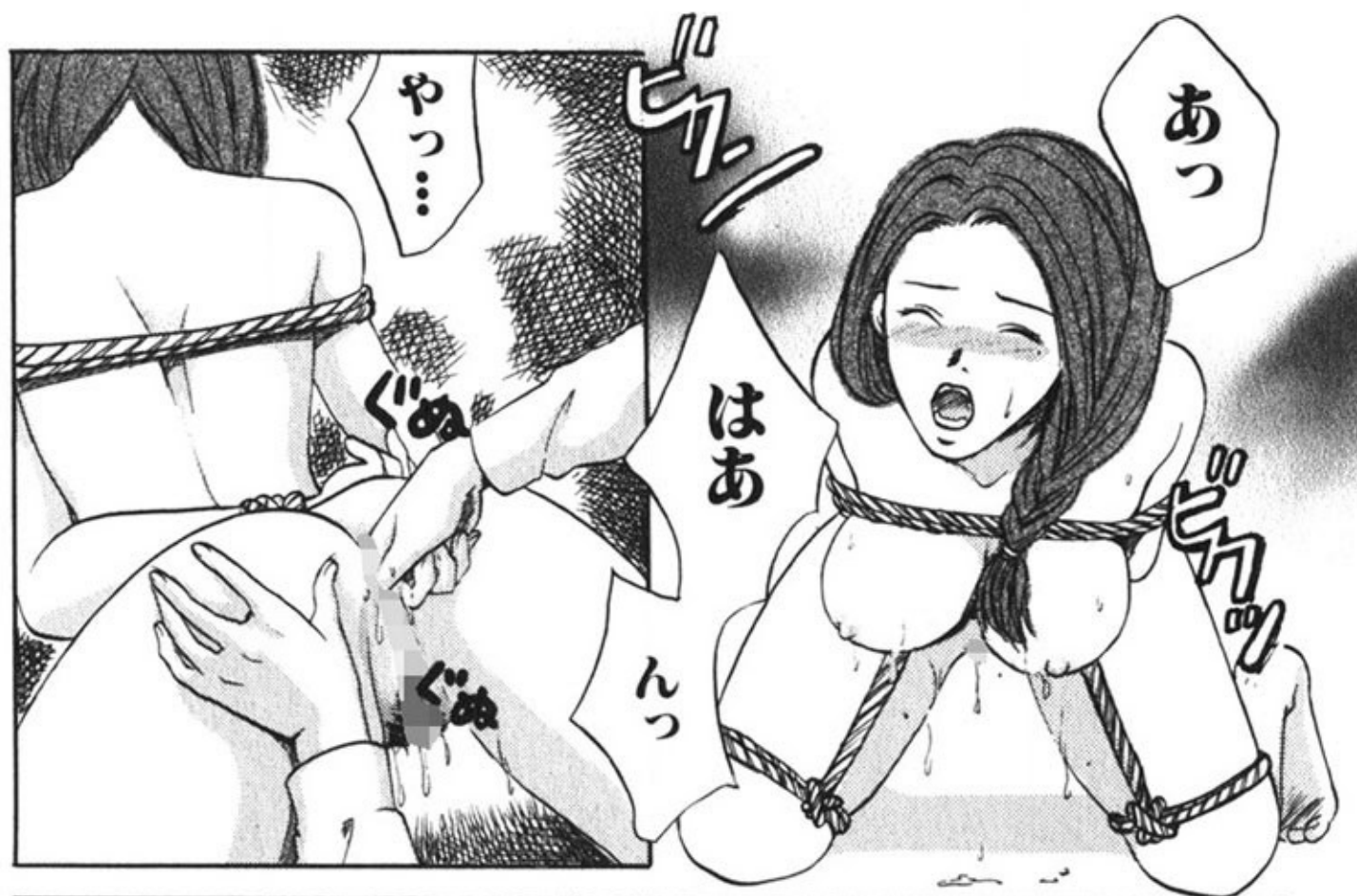


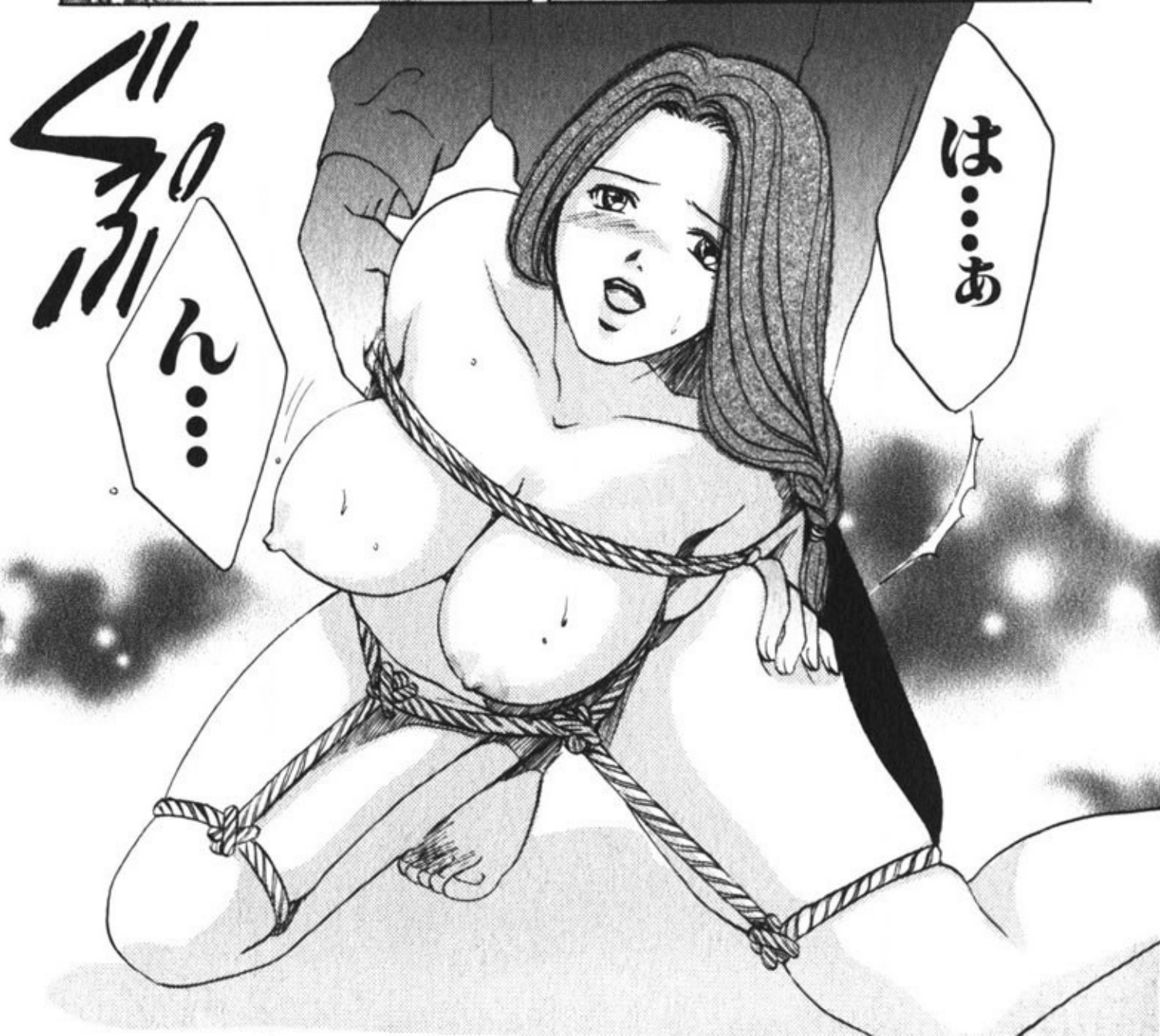
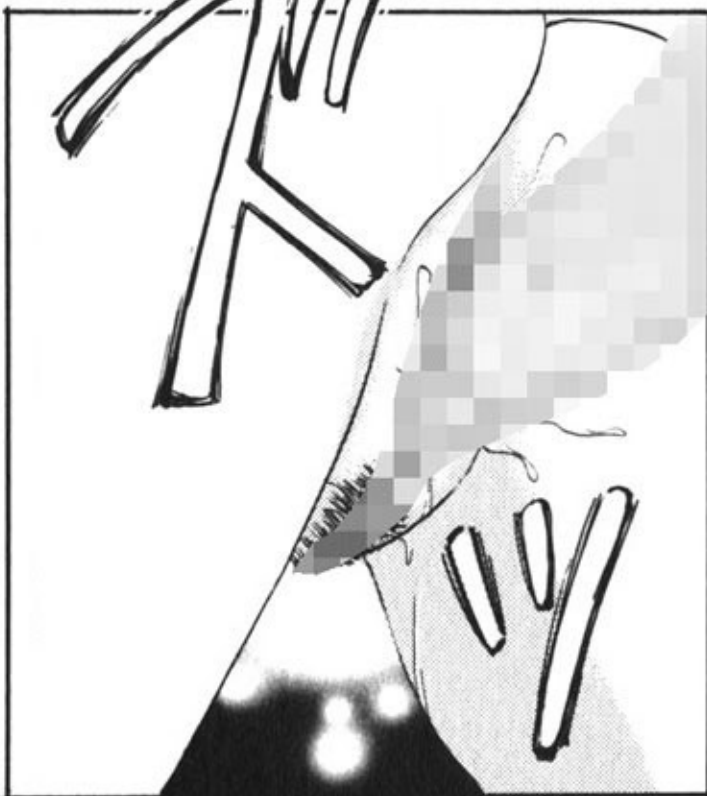
101

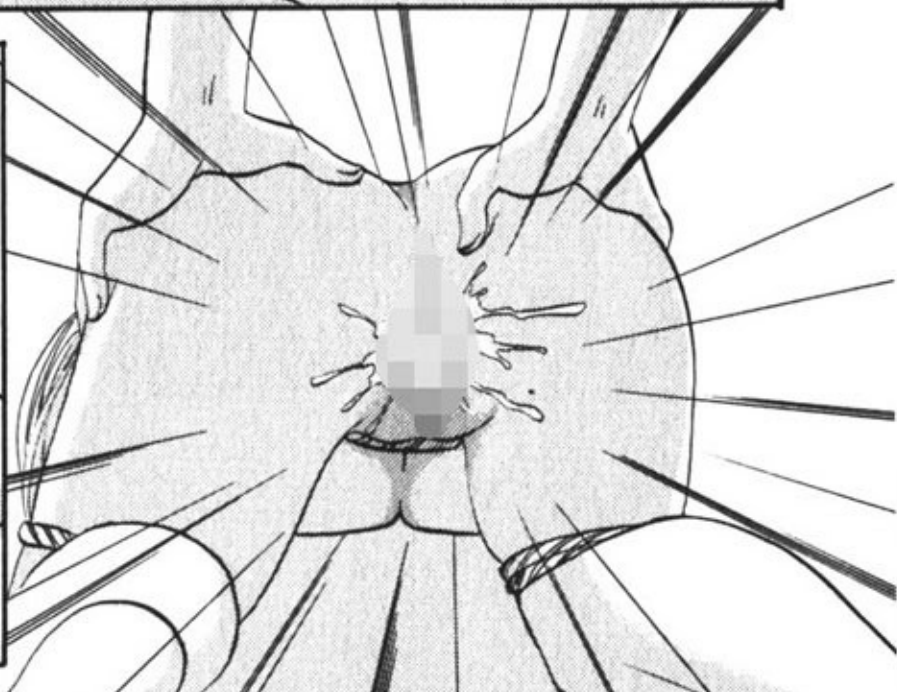
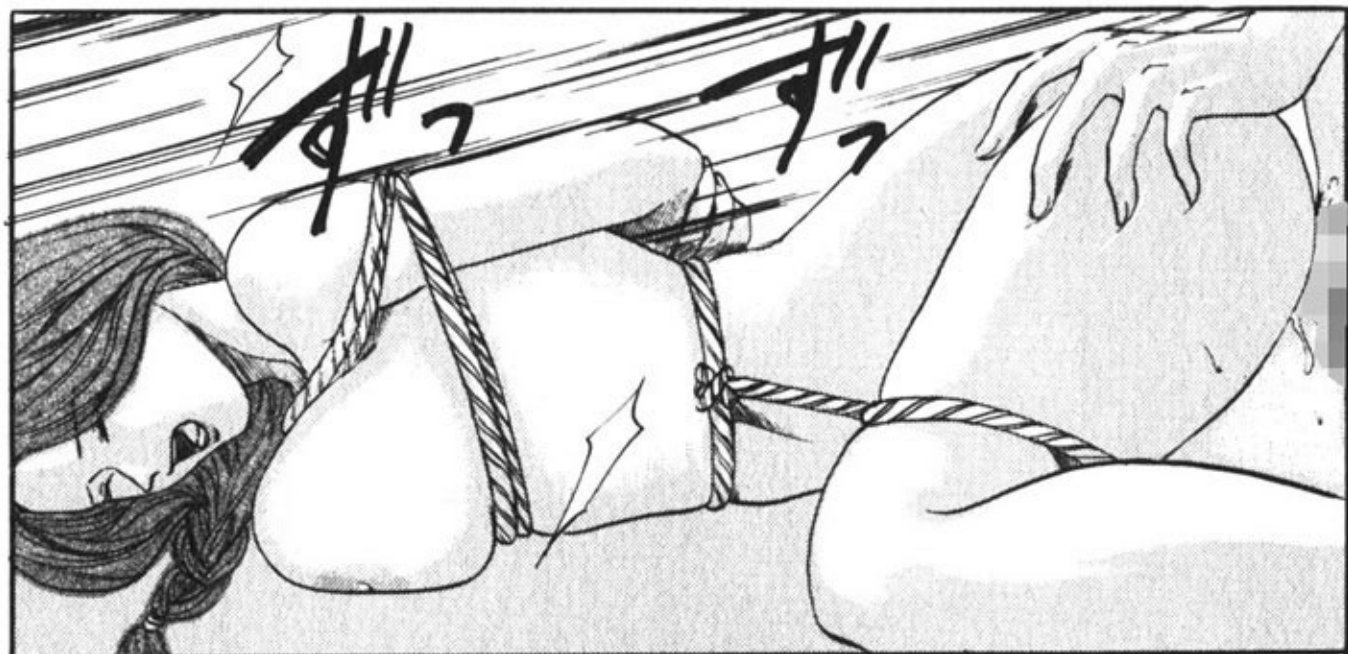


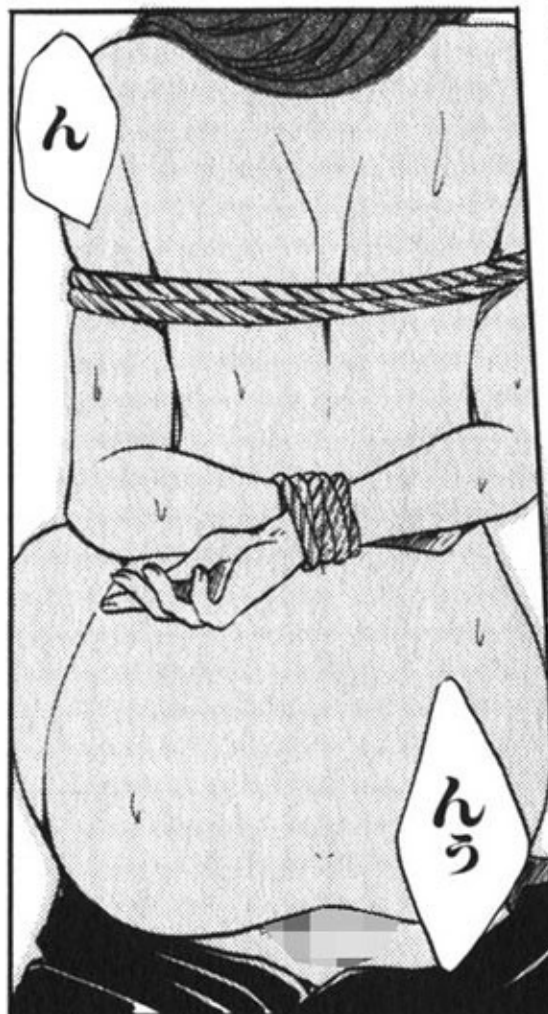


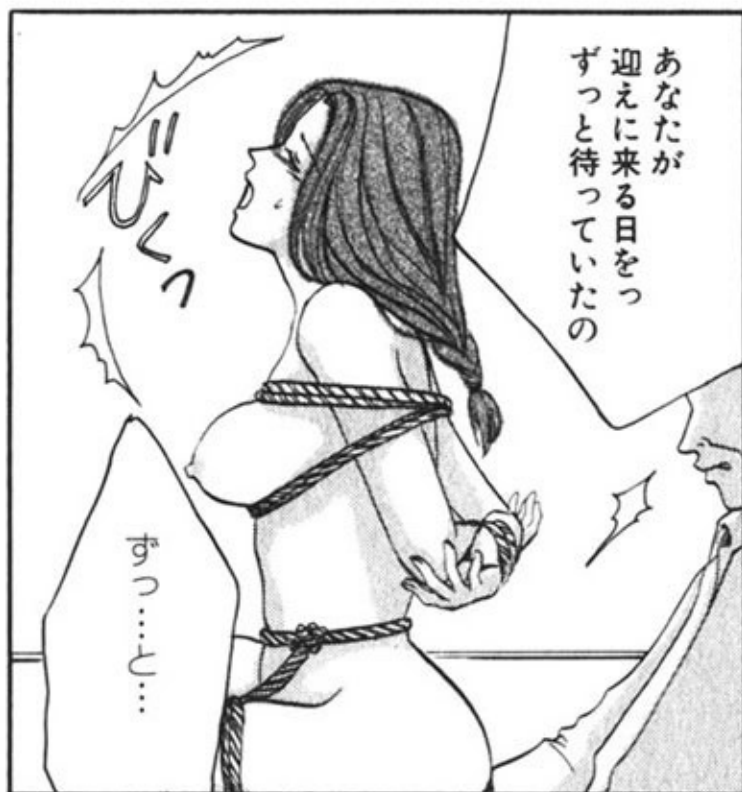


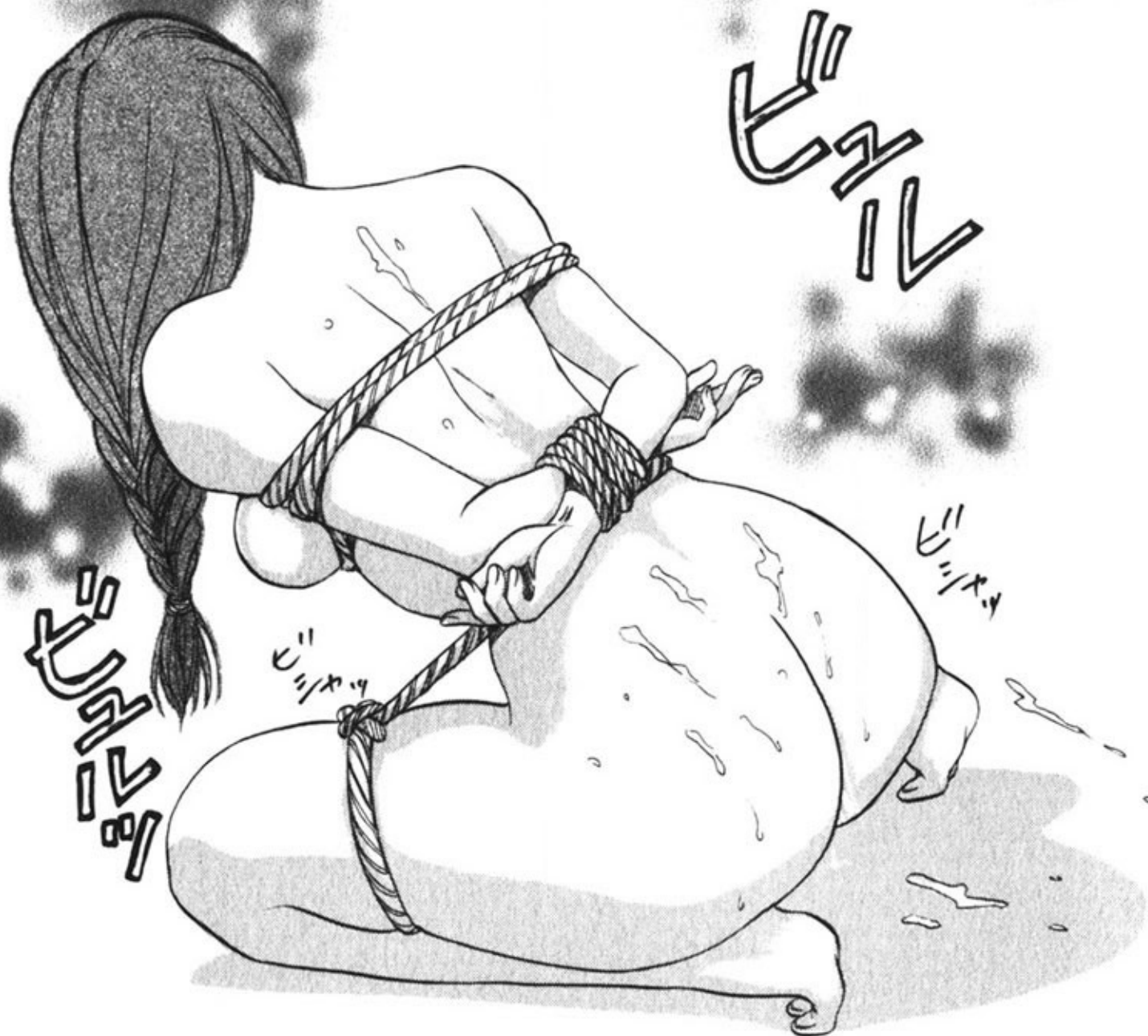


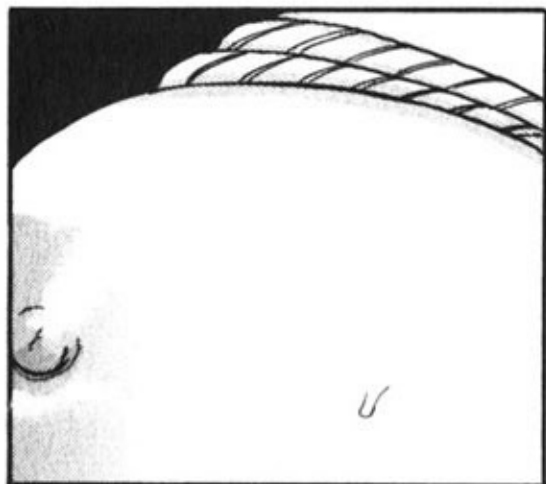






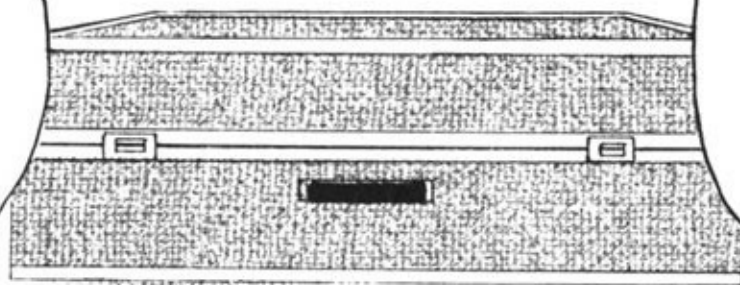






しかたがないわ
だってあなたは
随分長い間

私をあ箱に
とじ込めていたのだから

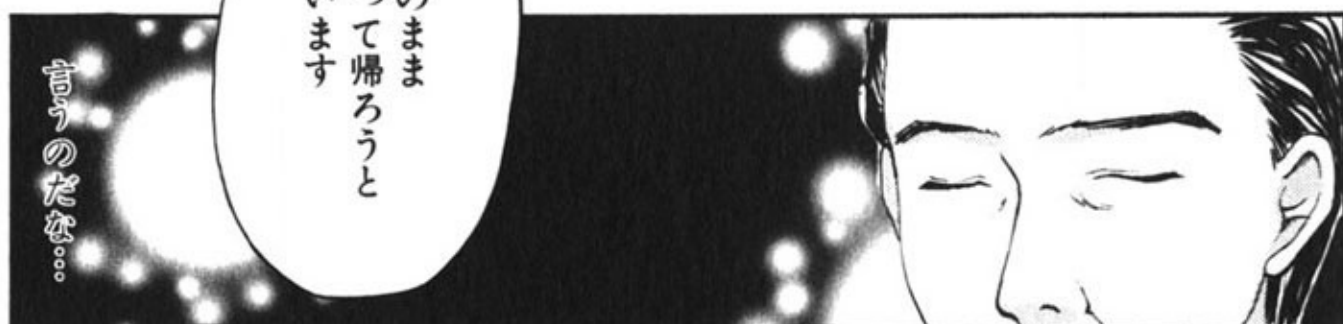


もう
一人は嫌よ…

あんな冷たい箱に
もう二度と私を
しまわないで…

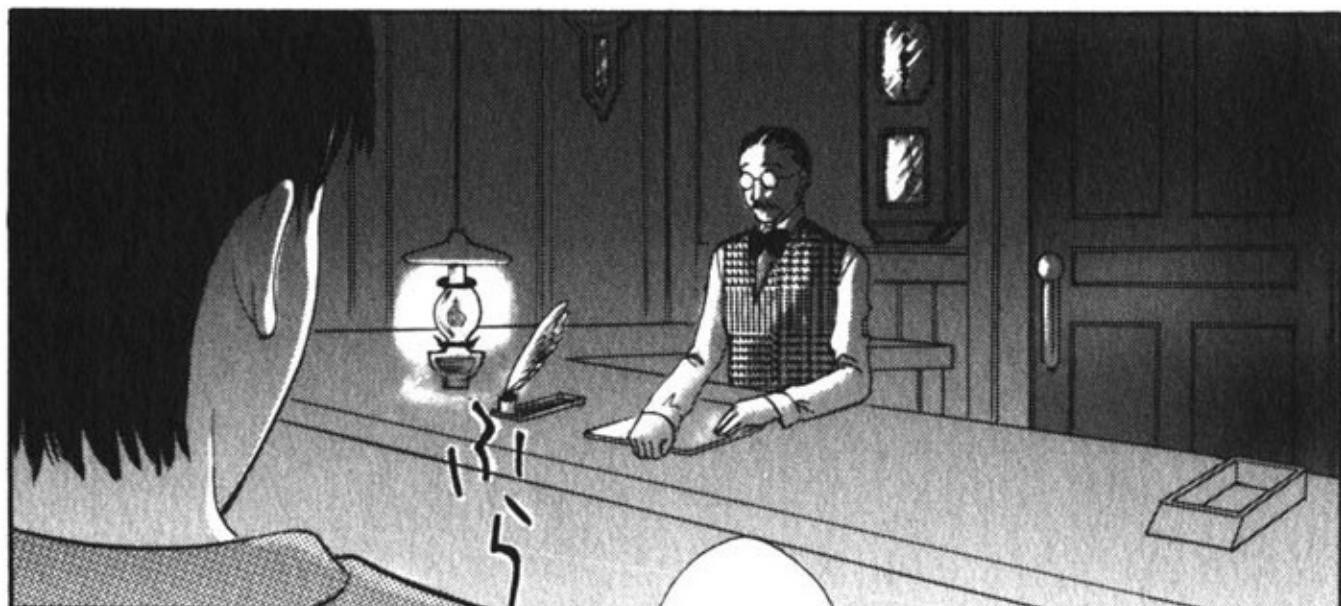








THE END



…あの



——伊ノ原様
ですね？

お待ちして
いました…

時の無いホテル
～鎖～

202

お探しのもの
届いていますよ

どうぞ

4+14



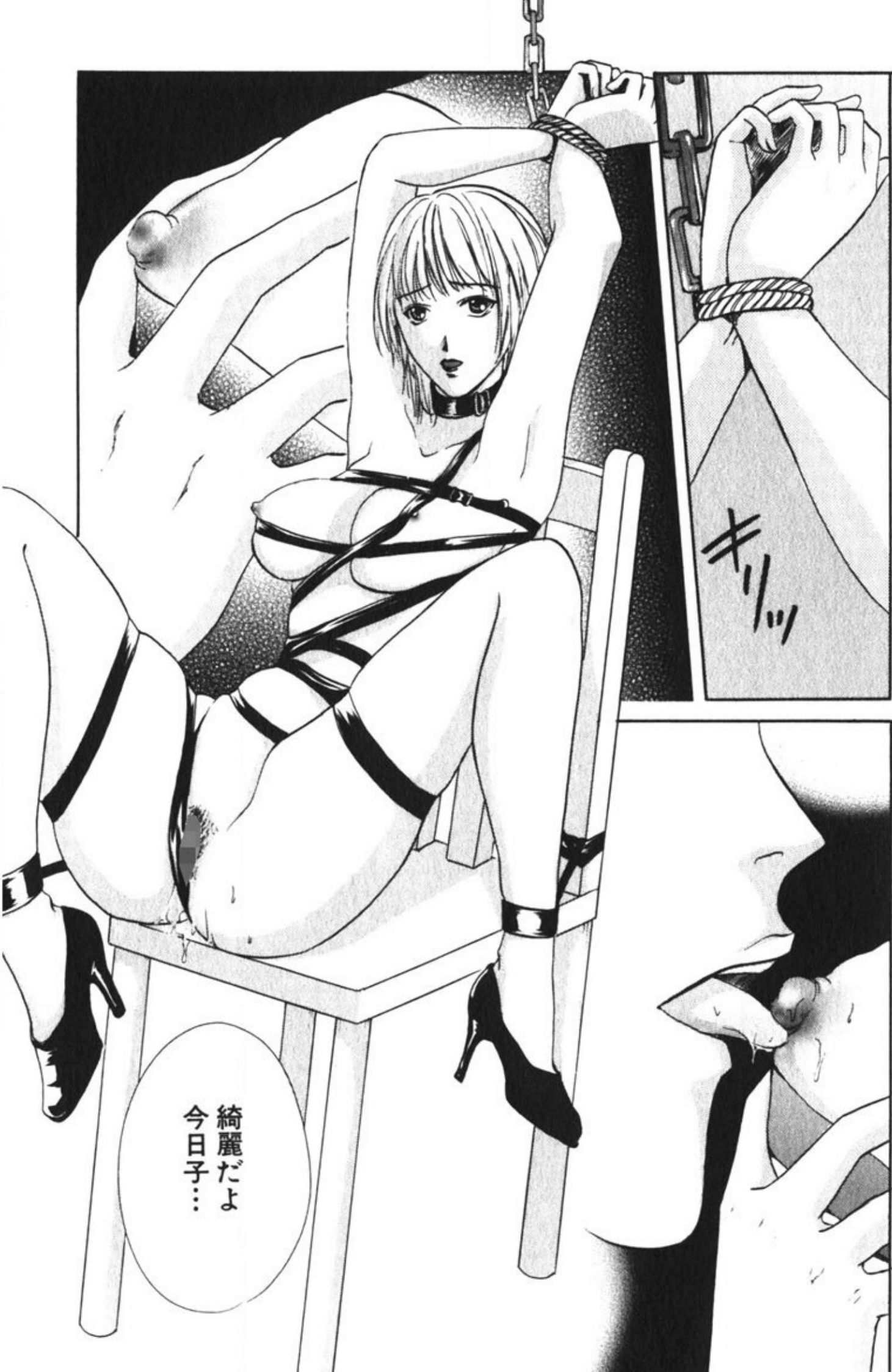


…待っていたわ
伊ノ原さん



今日子…

ねえ…いつものように
…して…



綺麗だよ
今日子...









はっ

あっ







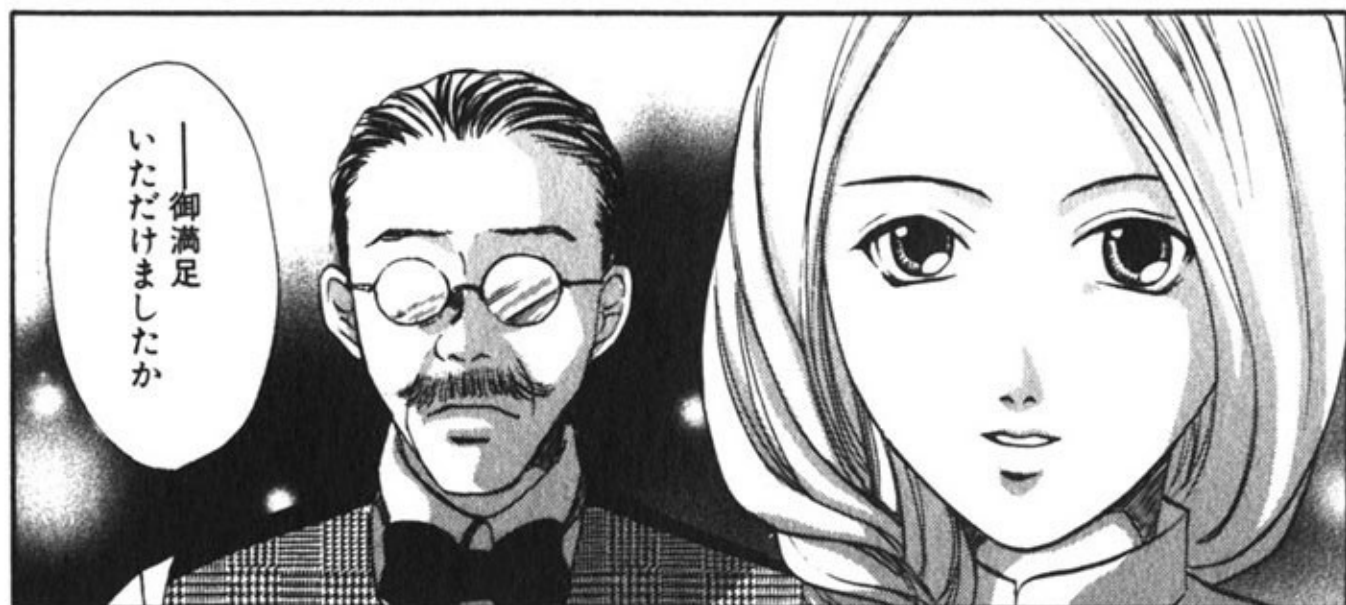


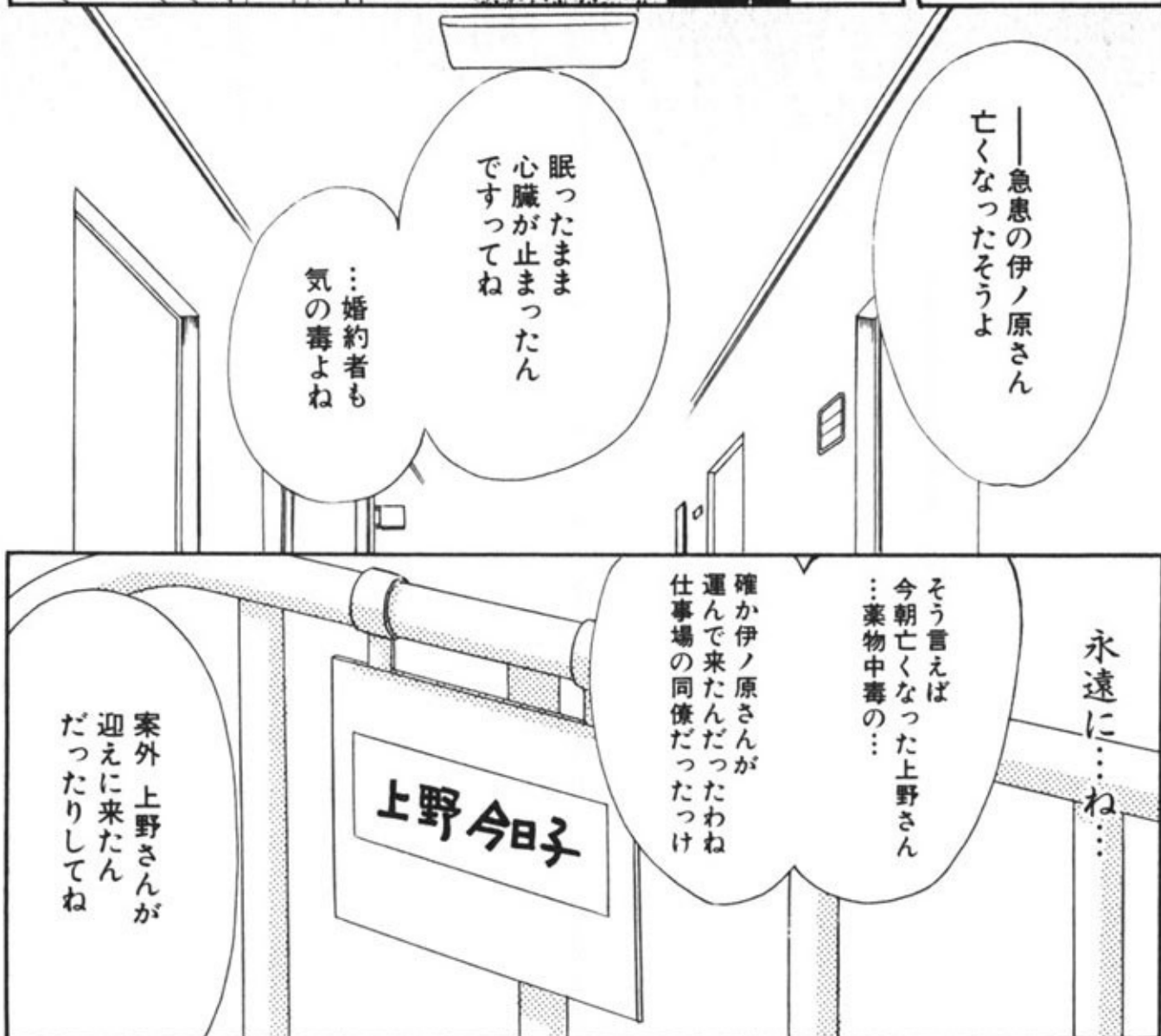




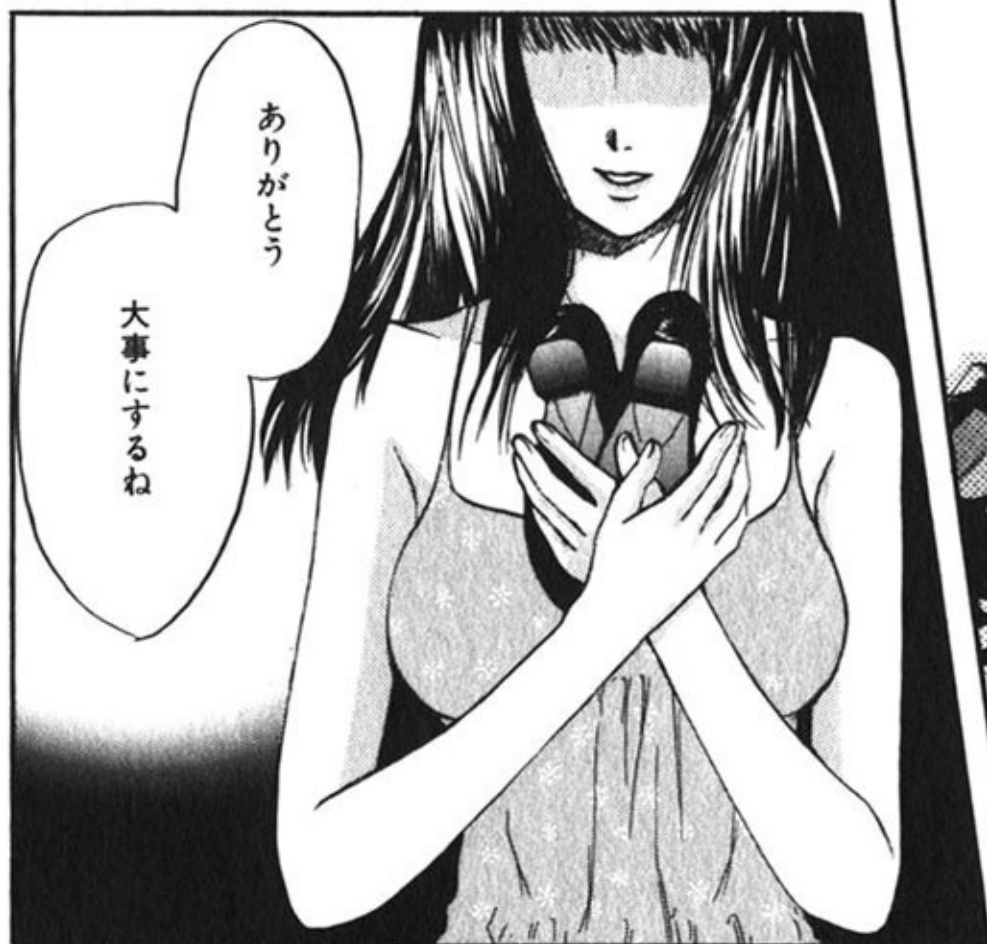
渡さないわ…

お客様…





THE END



ありがとう

大事にするね



ほら
約束のくつだよ



大事にするね。



お客様

どうかなさい
ましたか？



おつれ様がお部屋で
お待ちになっていますよ

...



あ...ああ？

うんうん...



時の無いホテル

靴

ここはどこだ!?

303

——こちらです
どうぞ…

…

ごめっくり
お過ごし下さい…

ごん…

——待ってたの…



——会いたかった
恭ちゃん……







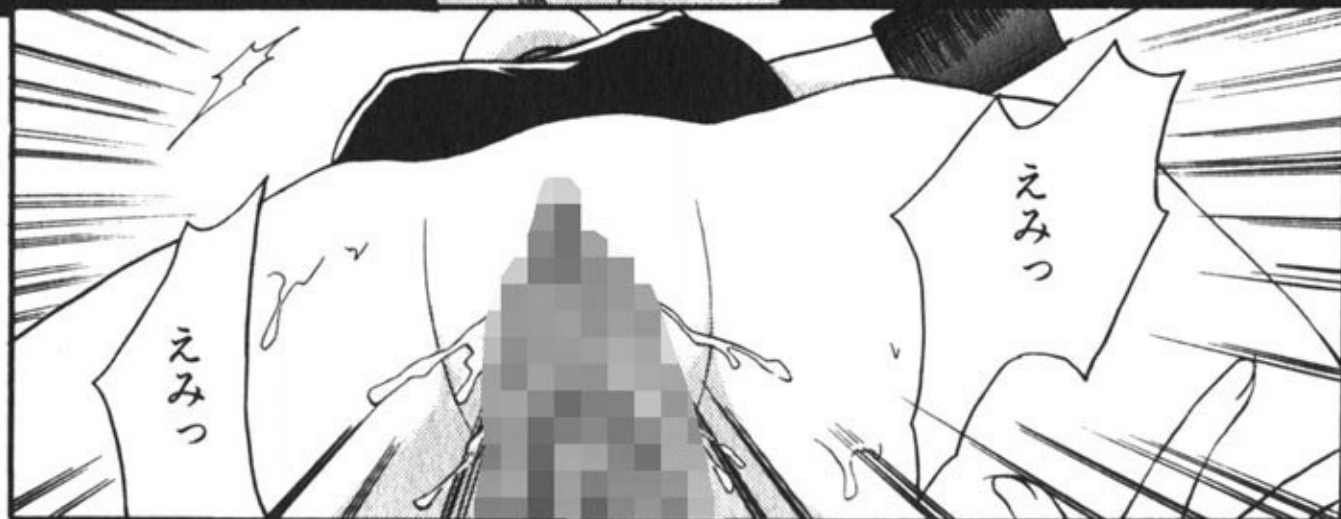


あ……

恭ちゃんの
においがする……

でも……







あああ







「兄さん」だから
駄目なんだって…

こんなに好きなのに
どうして!?

私…兄さんしか
恭ちゃんしか
いないのに…





兄ちゃんが
ずっと笑のそばに
いるから…



ずっと一緒だ…

— 恭 —

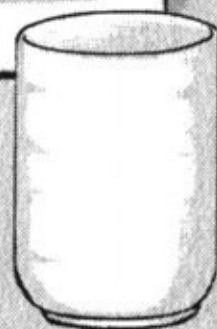
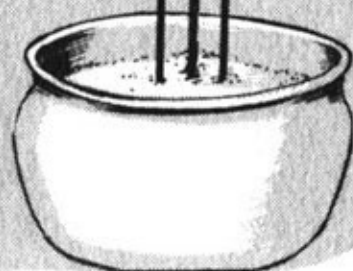
朝よ
起きてらっしゃい

恭一？



今日は笑の
お墓まいりに
行くんでしよう？

恭一
まだ寝てるの？



THE END

準備は出来てる
のか？

カッ

はい
こちらに…

御希望通りの品を
用意させていただき
ましたわ

はあ

じゅわん

はっ

はあ、

黒髪に白い肌
朱い果実のような
唇…

はっ

豊かな腰に

美しい胸

はあ、

はっ

そして

ウ…ン

感度のいい
肉体

きゅん



どうです？
御注文通り
でしょう？

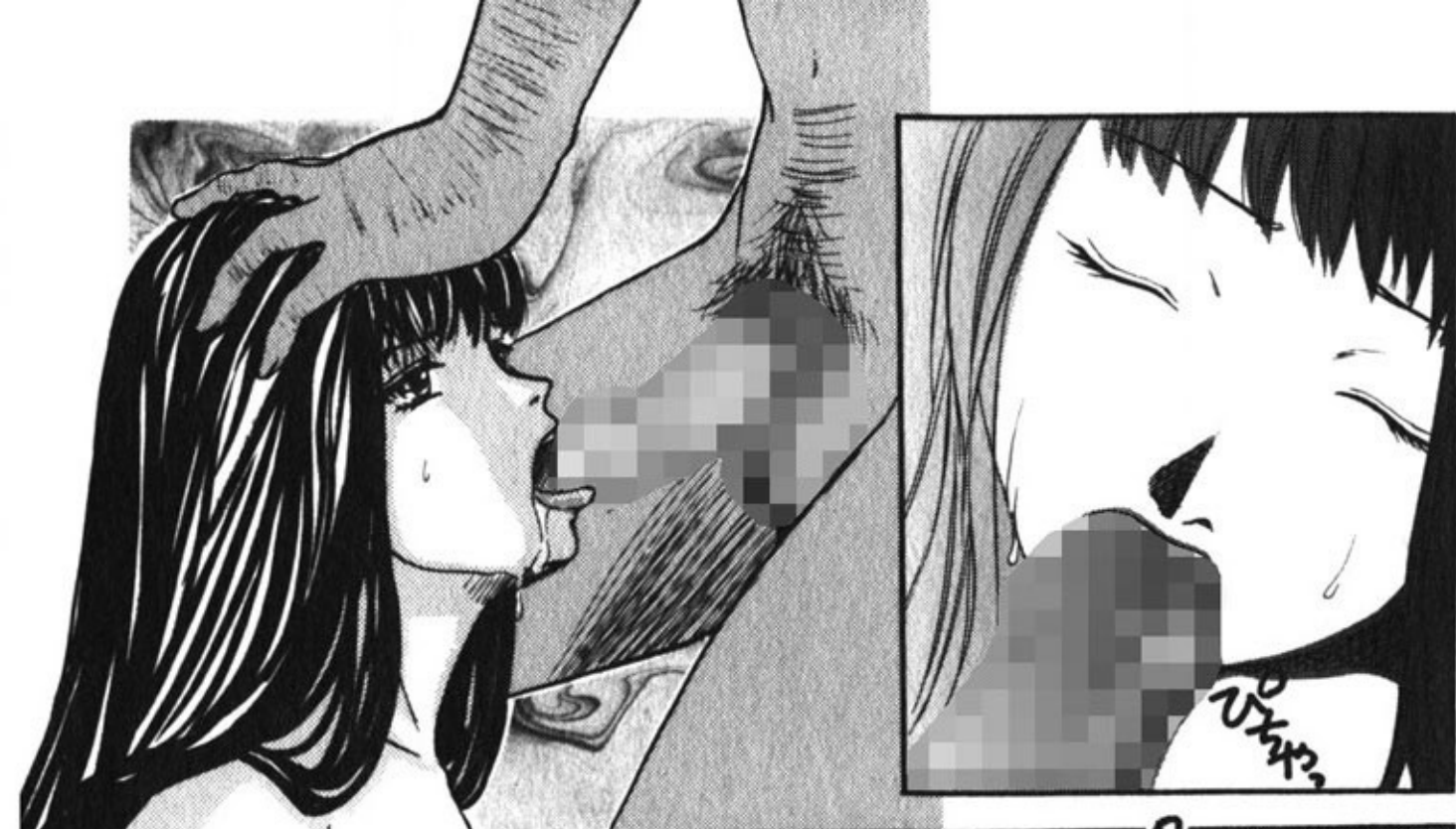
はあ

はあ

吾亦紅



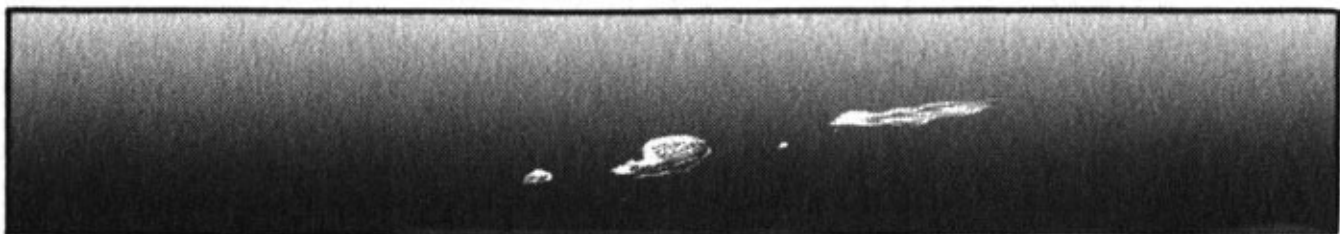






ほらっ…







——お前
口がきけないのか？

父様との最中も
ひと言も発さなかったね

セキッ



もともと口が
きけないのか？
それとも…

私のように

はーん？

父様につぶされたのか？











—なあ
父様は
お前を
何て呼ぶんだ？





緋龍的戲言

この度は、このように拙いばかりの作品集をお買い上げくださりまして誠にありがとうございます。前作が発行されてからほぼ二年。自分の力の無さを実感いたします。

書き溜めてきた作品群も、古いものになればもう2年以上も前の作品になるのでしょうか。好きでやってきたお仕事です。これからもずっと好きでやっていけたらいいなあと思う今日この頃です。

『玩具少女』

私の漫画に出てくる女の子たちは何処かしら人形的な気がします。

私自身、『人形』が好きで…

手元に置くのは怖いなあと思うのですが、好きなんですよね。

私の描く彼女たちはみんな

『壊れて』しまっています。

人間なんて完璧な生き物じゃないですからね。

何処かしら壊れていて当たり前なのでは？

と思うのですよ。

そんな人のほうが、付き合っても面白いでしょ？

完璧すぎる人は、疲れてしまいます…(苦笑)

皆さんはそんな事はないですか？

少なくとも、今の私はそう思うんです。

仕事や、人間関係や色んな事で悩んでいた頃。私の友人が、こう言ってくれました。

『好きなものは好きでいいんだよ』

自分が好きなんだから、何に恥じる事も無く

『好き』だと言っていいのだと。

嬉しかったですねえ。

今回書き下ろさせてもらった4コマは、そんな気持ちから描かせて頂きました。

『緋龍高弘』はこんなのが好きで、

こんな人間なんだよ。

そう、ほんの少し、私を知って貰いたかったかな。

漫画家の素性や実状なんて

何の興味もないかもしれませんが、其処はそれ。

『あら、この人こんなものが好きなんだわ』

とでも思っていたいただければいいかな、と(笑)



人って変わるものなの。2。



経済かって大事よね 〆〆

人って変わるものなの。



未 期 〆〆 かもネ...

こんな感じの日常です...

女はどんなに小さくても『女』なんですよねえ。
私がお世話になっている漫画家の先生のお嬢さん。
彼女はまだ小学一年生ですが、それでも立派に女です。
男の子よりも、女の子の方がきっとませているのでしょうね。
小さい頃、一緒に泥んこになって遊んでた相手が、
ある日突然『異性』になる。
きっと、男より女の方が意識してるでしょうね。
まあ、私なんかは性格なのか、環境なのか…
かなり男っぽく成長してしまいましたがね(笑)

小さい頃の遊び仲間が殆ど男の子でねえ。
草野球とか、サッカーとかしてました。
人形遊びより、その方が楽しかったんですよ。
今となってはもう…(泣)
年寄りなんで体が動かないんですよ…(苦笑)
まあ、そんなこんなで今現在
漫画描きなんかやってるわけですが。
楽しい事も苦しい事も、全てが私の日常。

『今が一番大事』
私の好きな某アイドル様(^_^;)のお言葉です。
今出来る事を精一杯やる。
私もそんなふうに生きていきたいと思うのです。

ここまでお付き合いくださって、ありがとうございました。

緋龍 高弘 拝 2001年12月末日



緋龍
高弘
2001.12
☐

この本を発行するにあたりまして
編集のT辺さん、並びに松文館編集部の方々。
O桃書房のK田さん、S世社のS木さん。
本当にいろいろな方にお世話になりました。
何年たっても初心を忘れず、頑張っていきたいと思いますので、
これからもどうぞ御助力、御教授の程宜しくお願い致します。

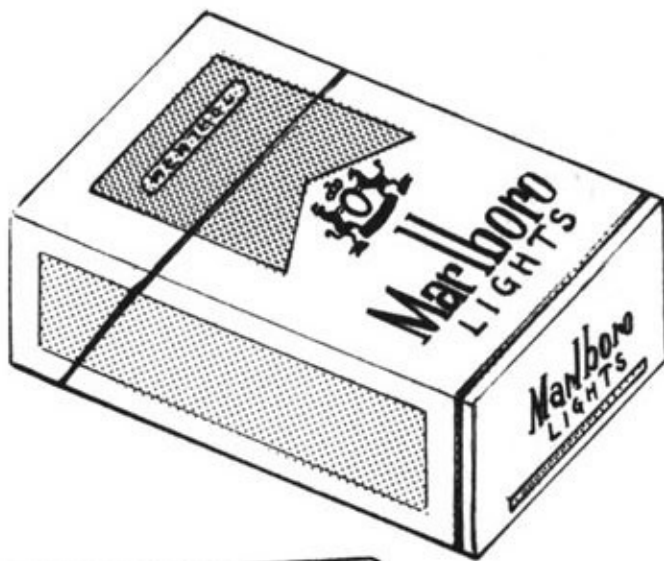
そして、いつも私を励ましてくれる
愛すべき『アトリエ・サヴァ』の皆さん。
愛しています。

この本を私の作品を楽しみにして下さる全ての方に奉げます。
ありがとう。

緋龍 高弘



special thanks for Sena author
and all my friends
... and my darling.



contents

TOY GIRL

a story /1

朱い鎖ー静寂の檻ー /5

覚 醒 /21

哀玩具ー千秋ー1 /37

哀玩具ー桜子ー2 /53

哀玩具ー玩具ー3 /69

狂 愛 /85

時の無いホテル /101

時の無いホテルー鎖ー
/117

時の無いホテルー靴ー
/133

吾亦紅 /149

緋龍的戲言 /165

4コマ漫画 /166

あとがき1 /167

あとがき2 /168

玩具少女

TOY
GIRL

Presented by
緋龍高弘

玩具少女

初出

「朱い鎖」	2000年	鎖縛Vol.6
「覚醒」	2000年	鎖縛Vol.5
「哀玩具-千秋-」	2000年	鎖縛Vol.7
「哀玩具-桜子-」	2000年	鎖縛Vol.8
「哀玩具-玩具-」	2000年	鎖縛Vol.9
「狂愛」	2001年	鎖縛Vol.17
「時の無いホテル」		
	2000年	鎖縛Vol.10
「時の無いホテル」～鎖～		
	2000年	鎖縛Vol.11
「時の無いホテル」～靴～		
	2000年	鎖縛Vol.12
「吾亦紅」	2000年	鎖縛Vol.14
あとがき&4コマ		かきおろし

